

平成25年度 液化石油ガス地方懇談会(質問、意見等)
(石油ガス流通合理化調査)

平成26年3月31日

消費者委員からの質問、意見等

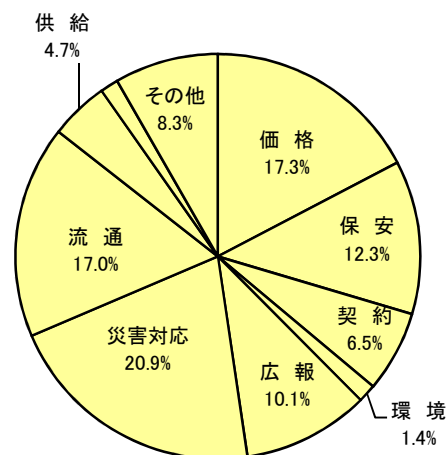
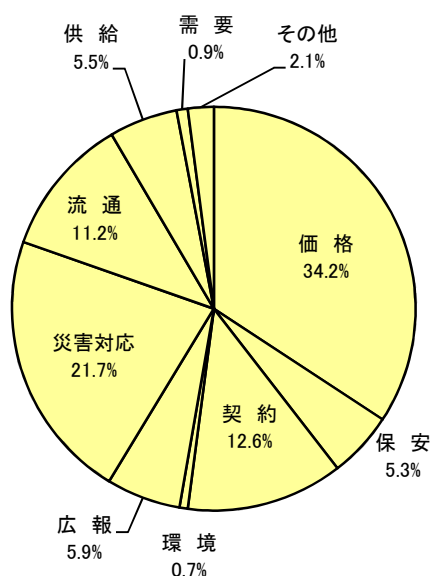
1. 開催地域別の件数と個別意見

												参考		
	北海道	東北	北関東	南関東	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	合計	%	24年度	%
価格	28	11	8	21	12	21	11	12	13	13	150	34	48	17
保安	2	3	2	1	2	3	3	3	3	1	23	5	34	12
契約	4	2	7	11	5	7	0	4	9	6	55	13	18	6
環境	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3	1	4	1
広報	5	3	1	0	3	6	1	2	3	2	26	6	28	10
災害対応	8	12	6	18	6	11	7	10	11	6	95	22	58	21
流通	6	0	3	4	3	6	11	6	5	5	49	11	47	17
供給	1	7	2	0	3	3	1	3	3	1	24	5	13	5
需要	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	4	1	4	1
その他	1	1	0	2	0	1	1	0	1	2	9	2	23	8
合計	55	40	29	57	36	58	35	40	48	40	438	100	277	100

注) 質問事項の分類及び内容は出来るだけ質問者の意向を反映させていますが、同一発言の中に幾つかの内容がある場合はそれを1件として別に表示しています。
従って、質問数は質問内容の区分による件数を単純に集計したものです。

分類別意見件数比率

【参考】24年度分類別意見件数比率



2. 分類別概要

i. 価格

150(34.2%)

- * 料金の明確化、料金体系 40件
- * 価格の周知 49件
- * 価格の差異(地域、業者間) 28件
- * 価格の円高差益還元 0件
- * 価格競争(値下げ努力、競合燃料) 21件
- * その他 12件

ii. 保安

23件(5.3%)

- * LPガス設備機器の安全性について 11件
- * 販売事業者の保安への取組み 2件
- * 保安点検・指導の実施 6件
- * 事故要因と対策 0件
- * 緊急時対応(地震災害など) 3件
- * マイコンメーターについて 1件
- * その他 0件

iii. 契約	55件(12.6%)	
	* 書面交付(契約履行、内容説明等)	27件
	* 販売先の変更、契約解除問題	12件
	* 解約時の配管他費用負担	0件
	* 特定商取引法	0件
	* その他	16件
iv. 環境	3件(0.7%)	
	* 新エネルギー	1件
	* CO2排出量関連(他燃料との比較、他)	0件
	* その他	2件
v. 広報	26件(5.9%)	
	* 情報提供、啓蒙	14件
	* PR活動	6件
	* 災害時対応	3件
	* ガス機器啓蒙	2件
	* 講習会・懇談会	1件
	* 営業活動	0件
	* 点検	0件
	* その他	0件
vi. 災害対応	95件(21.7%)	
	* 防災体制の確保	24件
	* 公的施設への導入	8件
	* 情報提供等の連携	1件
	* 供給体制の確保	43件
	* ボンベの被災	0件
	* 初期対応について	1件
	* 防災協定の締結	2件
	* 国家備蓄	4件
	* その他	12件
vii. 流通	49件(11.2%)	
	* 流通業者への要望	18件
	* 消費者へのサービス	9件
	* コミュニケーション	20件
	* その他	2件
viii. 供給	24件(5.5%)	
	* 安定供給	9件
	* 新規輸入ソース	1件
	* 備蓄	11件
	* その他	3件
ix. 需要	4件(0.9%)	
x. その他	9件(2.1%)	
	* ガス機器	2件
	* エネファーム	0件
	* 電磁波	0件
	* その他	7件

1)開催地別

開催地	分類	意見等
	価格	・賃貸住宅の場合、ガス配管やガス器具等がガス料金に上乘せされ高額となるケースがある。その際、大家やガス販売業者から十分な説明がない場合もある。
	価格	・最近、消費者から、ガス料金が毎月数万円に上がり、販売店に聞いても、説明がないとの苦情もあった。
	価格	・北海道は道外に比べ高値安定が続いており、格差是正の兆しがみられない。過去、構造改善事業等取り組んできているが、業界団体で格差是正のアクションをとれないものか。
	価格	・料金体系の不明瞭さ 二部料金制と三部料金制、使用しなかったときの基本料金の考え方(通常、使用がなくても基本料金はかかるが販売店によって0円のところもあった)。
	価格	・契約書面の交付時に料金体系の説明が不十分なのではないか。
	価格	・戸建住宅集合住宅の料金格差 設備や配管等によるところもあるかと思うが、同じ販売店だが戸建で使用していたときと集合住宅での使用で料金表が違っていた。
	価格	・地域による料金格差 札幌でも個人経営の販売店が廃業しているが、地方では販売店が1店のみというところもよく聞く。今後、価格の寡占化が進むのではないか。
	価格	・原料価格変動時に伴う価格反映制度導入の遅れ 大手の販売店では導入されているが、個人経営や中小販売店では原料価格の値上げ分を価格に反映できないでいるところも多いのでは。消費者だけでなく、販売店にとっても適正価格で販売するためにも導入すべきではないか。
	価格	・市内配達でもLPガスの価格差が大きく、高値安定となっております。
	価格	・卸売価格が適正に反映されているのか疑問に思っております。
	価格	・自分の払っている価格が、同地域、他地域に比べて高いのか安いかわからない(安ければ良いが、高ければ理由を知りたいと思う)。
	価格	・値上げ時は、原料高なのでと説明するが、そのまま値下げしたことがない。
	価格	・原料に石油ガス税がかかっているのと思うが、消費税もかかる。今後8%、10%、そして15%と上がる事が予想されている税に税をかける二重課税は業界全体で取り組み無くして欲しい。
	価格	・現行と新しい価格決定の仕組みと決定までの流れを時系列でお知らせ下さい。
	価格	・周知されていない価格差に関して、消費者にどのように発信してきたか。
	価格	・料金を変更するにあたり、現行の仕組みの問題点と新しい仕組みの改善ポイントは？
	価格	・価格が不透明でマスコミにも登場しない(比較として灯油・ガソリンなど)。
	価格	・公共料金と同様に「原料価格変動に伴う価格反映制度」の導入が望ましい。
	価格	・次善の策としては、消費者に手渡す検針票等に輸入価格の推移等の情報を積極的に公開し、透明感を出す。
	価格	・数か月おきの改定が難しい場合は、1年に1回程度見直し、一定幅以上値上げの場合は、ユーザーへの還元(物品でも良いのでは)も検討する。
	価格	・手間のかかる業務と思われるが、原料価格変動時に伴う価格反映制度の導入を進めてほしい。
	価格	・販売業者はとりわけ高齢単身者にLPガス料金価格の値上げ、値下げについて丁寧に説明してほしい。
	価格	・値上げ時、値下げ時、料金改定時には丁寧に説明して欲しい。
	価格	・1年に1回ほどが良いが、他地域の価格等を掲載したプロパンガスニュース等を配布して欲しい。ここに業界の悩みや良さを載せると消費者の理解につながると思う。また、配布することで事業者もより理解すると思う。
	価格	・石油ガス税に消費税がかからないように業界全体で取り組んで欲しい。
	価格	・値上げのお知らせが、今日入っていた販売店と入っていない販売店がある。

保安	・ガスの性質上、保安や取扱いについて不安が生じるので、何かあった場合、親切、丁寧な対応が不可欠。
流通	・特に高齢化社会の進展で、ソフト面での対応が重要となる。 いずれにしても、販売店の流通マージンが大きい理由の一端はそこにあると思う。サービス対応が悪い販売店は、ガスを売る資格がないのではないかと思う。
契約	・自由取引なのだが、ボンベの使用等あり、業者を変えるのはまず「めんどう」でなかなか変更しにくい。
価格	・他社の料金設定や違いがわからない。
流通	・どのような仕組みで消費者にお知らせしているか、周知されているかが疑問です。
その他	・本懇談会は継続事業なので、毎年出された意見・要望等について、改善点などがあれば報告する等すれば、前向きな会議になるのではないか。
契約	・一度契約したらそのままではなく、何年かおきに契約を更新するようなシステムをつくり、契約の再認識やその時代に合った契約内容への変更があってもよいのでは。
価格	・集合住宅での販売店変更は非常に難しいが、家主との契約時に入居者への料金体系説明を義務付けるようなシステムがあるとよいのでは。
契約	・販売業者は引っ越し等契約解約時の撤去費用についてトラブルがないよう、業界の「モデル契約書」に基づくきちとした書式で契約書を作ってほしい。
流通	・業界として課題を把握できる全国利用者10,000人抽出アンケートなどを取り不断の努力をすることが必要であると感じています。
契約	・契約書面等は、1年に1度取り交わすようにして欲しい(初めて配布されても、年数がたつと忘れてしまうので)。
流通	・1年に1度でもプロパンガスニュースを配布して欲しい(関連のニュースを掲載する)。
流通	・料金も銀行引き落としで事業者とは顔の見える関係ではない。配布の際は、手渡し理想だが不可能な場合も多いと思うので、顔あわせで伝えられない分を埋め合わせるような内容や啓発を入れて貰うと消費者も役立つし、業界の理解にもつながる。
流通	・大手会社が残し、小売店が閉店し30年来の人間関係もなくなり、地域でのつながりもうすれています。大手に淘汰されてしまうと、地方地域は災害があった場合に不安がある。
災害対応	・大手会社が残し、小売店が閉店し30年来の人間関係もなくなり、地域でのつながりもうすれています。大手に淘汰されてしまうと、地方地域は災害があった場合に不安がある。
広報	・利便性、経済性、安全性を考慮すると、北海道の地域性から戸建住宅の暖房は灯油(2011年の札幌市での新築分譲マンションは83.4%が天然ガス使用だが)が主流で、照明・動力は電気が主流と思われる。LPガスが選ばれるには台所の煮炊きや給湯の分野でその特徴をアピールするのがよいのでは。
災害対応	・消費者個人がミックスするのはむずかしい。自治体指定の災害避難施設は災害用として必要かなと思っておりません。
災害対応	・想定外の災害は今後も発生します。想定外の災害にLPガス販売事業者が対応できるのか疑問であり、業界全体として研修など取り組んでいただきたい。
広報	・今、家庭で使う多くの機器は電気がスイッチになっている。但し、炊飯器やコンロは、電気がなくても使える。このことをもっと宣伝しても良いのではないか。
広報	・炊飯器は電気に比べておいしく、時間も短い。日常的に使用していることも重要と思う。エネルギーの分散をもっと啓発した方が良いと思う。
災害対応	・災害に備えては、5kgのボンベとコンロの備えの啓発があっても良いのではないか。
災害対応	・北海道においては、災害として、停電も数多く経験しています。その中で、ガスをミックスしておくことで電気がなくても、調理(食事)ができる事が大きいと思います。

災害対応	・分散型個別供給の強みを生かしていくとともに、災害対応ガスバルク供給システムの普及を要望。 現在、札幌市には何箇所の災害対応ガスバルク供給システムが設置されているのでしょうか。
保安	・エネルギー供給についてメリット、デメリットがあります。 東日本大震災の津波についてはLPガスの事故は少なかった(なかった)かもしれません。関東大震災、阪神大震災を上回る大規模災害時LPガス(破損したガスボンベ)の安全性はどうなのでしょう。 災害時の安定供給をするため、想定外の災害に対応できるLPガス災害実験施設を建設してみたいかでしょうか。
災害対応	・流通網の整備(Aの道路・港がだめなら、Bの道路・港)
災害対応	・業者間の連携(プロパンガス業者)
広報	・電気の節電意識は、高まっていると思うが、例えば炊飯器だけでも替えようとの動きは、あまり聞いたことがない。プロパンガスの良さをもっとテレビ等で広告しても良いのではないか(消費者は、そのことに気がついていないのではないだろうか)。
広報	・プロパンガス=爆発のイメージがあるので、安全についても広報して欲しい。
供給	・ガスの安定・安心供給は必要です。 地方地域の安定供給、契約業者の確保が望ましい。
価格	・県外からの転入者からガス使用料金が低いとの相談が非常に多い。 今後ガス販売店で地域の実情を使用者に理解してもらう説明が必要ではないか。
価格	・北国と都会の生活環境の違い、販売店は消費者に解りやすく説明することが必要では。 たとえばガスメーターの検針の時にでも声がけをすとか、パンフレットの配付等。
災害対応	・東日本大震災においてLPガスを燃料としたタクシーが活躍したこと。被災者の煮炊きに活用されたこと。
供給	・各県市町村での備蓄ができないか。
災害対応	・東日本大震災を体験した一人として、LPガスの必要性を再確認しました。 電気や電話も通じない中で、LPガスでお湯をわかし、ペットボトル等に入れ暖をとることが出来た。
災害対応	・ガスを利用し、ごはんを作ったり、食事全般の準備が出来、唯一の救いであった。
供給	・エネルギーの安定供給をしてもらえるので、今後も安心して活用したい。
保安	・2011年の津波(地震)で、ガスの元栓を閉めないで逃げていました。気がついてみたら(2日後)しっかりロックされていました。 [震災時の係の対応が適格でした。]感謝です。
価格	・今の時期石油ストーブに頼っているので特に感じた事。 使用メーターは以前とさほど変わらないのに、近頃料金が倍近くになりました。輸入価格が上昇しているのは分かりますが～。 いくらかでも使用料をおさえる工夫はしているのですが、大変です。
価格	特にありませんが、少しでも使用料金が下がることを期待しています。
災害対応	・停電や地震になっても各家庭毎に対応出来るから。(個々にLPガス使用可である。)
災害対応	・移動して(炊き出しやいも煮など)使用(利用)出来る。
災害対応	・「いざ」という時に誰にも頼らず(人を待たず)エネルギーをまかなえる事は、本来重要な事と思います。 LPガスは各家庭毎にあるため業者のサービス負担が大きいと思うが、今後まちづくり(視点)など大きな視野で一度検討してみる事も必要なのではないでしょうか。

東北

価格	・LPガス以外使用の経験がなく、料金についても特別の疑問を持たず過ごして来ました。天然ガスより料金は高いのでは？と漠然と思っていました。この機会に、学習します。「ボンベのガスが切れると連絡する」というシステムでなくなり、大変便利に感じ、天然ガスと同じ気分で使用出来ることは有りがたく思います。
価格	・地域によってあるいは、販売業者によって使用料金がどうなっているか知りたい。
価格	・1-1に通じることであるが、地区の使用料金表のようなものがあればと考える。販売事業者(店)の料金を比べることが出来るから。
保安	・ガス警報器の耐用年数はあるのか？
契約	・契約がどうなっているのか、わからない。(わかりにくい。)
広報	・業界通信(新聞)のようなものがあると良い。
広報	・トピックスなどの情報。
広報	・パンフレットのようなものでもよい。
災害対応	・目にみえるところに、ガスボンベがあるから。
災害対応	・東日本大震災の折、秋田県は停電が数日ありましたが、LPガスがあり、大変助かりました。
災害対応	・水道も無事でしたので、お湯が沸かせた。
供給	・私共のところは1本設置しています。残の不安もなく生活出来、有りがたく思っています。2本設置のところは、常に1本補充しているのでしょうか？
価格	・料金はどうなっているのか？
災害対応	・資料の「災害用バルクシステム」は知りませんでした。
価格	・環境に良いと判ってはいるが、ちょっと高い。
その他	・電気について 今、原発の代わりに火力発電をしております。CO2の問題などでLPガスにすると可能ですか。コストはどの位高くなりますか。(火力発電にしてから異常気象が日本全国で多発しているので・・・)
環境	・安全で環境に良い。
供給	・貯蔵しやすい。
供給	・持ち運びしやすい。
供給	・輸入に頼ってばかりではなかなか価格低下が見込まれないので、自国で生産出来る技術が早急に開発されると良いと思います。
供給	・LPガスが再注目され、需要が伸びるとさらに備蓄急増。その対応は。
価格	・LPガス料金は、毎月1回定期的に販売業者がメーターの検針を実施し、基本料金と使用料金を合算した検針通知書兼請求書が発行され、口座引落しでお支払いしておりますが、使用料金の単価が明記されていないので、単価をはっきり明記して頂きたいと思えます。
価格	・料金については、現在1m3当たり640円ですが、1月検針より、主要産出国からの輸入価格の高騰により、1m3あたり40円の値上げになると文書でのお知らせがありました。せめて基本料金をもう少し、値下げして頂ければいいと思えます。
契約	・LPガスの契約、取引について自由に選べることは周知していましたが、ジェイエイの組合員でもありますので、職員の方の推進により、継続して取引しております。今後も変更する考えはありません。(近くて、便利、職員の対応もよいです。)

保安	・定期的(1ヶ月1回)に補充、検針も実施され、また、ガス器具の1年1回の点検、ガスもれ警報器の設置をしておりますので、問題ありません。
災害対応	・各家庭にボンベが設置されており、移動も可能なことだと思います。ガス器具等も安全装置付のものもあり、震災時には安心です。
災害対応	東日本大震災のときには、停電、断水が10日以上も続き、本当に苦労いたしました。その時に、LPガスがあったために、家族の毎日の食事を作ることができ、本当に助かりました。(電気釜での炊飯はできず、給水所からの水で鍋でごはんを炊いて、食べることができた時の美味しさは忘れられません。)
価格	・都市ガスとLPガスには料金の差がある。都市ガスは補助があるから安いのか、疑問に思いますが、LPガスは都市ガスの倍位の価格が不満だと思います。
価格	・公共料金は、基本的に「総括原価方式」で運用されていると認識しています。消費者の価格に対する不満は「高い」と「不透明」と言う声が多く出されています。パンフレットなどには、LPガス料金の仕組みとして、基本料金+設備利用等料金+従量料金と解説されていますが、それぞれを構成する内容や、その一つ一つの単位設定の適性がわかりません。また、利益がどれくらい乗せられているかもわかりません。
価格	・都市ガスより料金が高いのはどうしてか？
価格	・LPガス料金が自由料金であること、販売店を自由に選べること等を知らない人が多い。料金の仕組みを利用者に知らせること、認知度をあげるようつとめてほしい。
流通	・自由料金制ですが、都市ガスの様に認可料金にはできないのでしょうか？
価格	・料金表がないので価格差の比較が出来ない。最近「この地域をまわっている」という電話での勧誘がありました。「日本LPガス協会」と名乗っていました。販売業者一覧表(県内、県北版でも)がありますか。
価格	・上記にあげた、単価設定や利益なども含めて、もう少し詳細な情報提供、説明がされるとよいと思います。
価格	・料金システムがもう少し明確だといと思います。
契約	・販売店さんとのコミュニケーションがうまくいっていますので安心してお願いしています。
契約	・契約及び取引の条件としては地域に密着しているか、これを考えています。安くて近くに拠点がないと不安。
契約	・解約時や販売店変更時などに、配管や器具などの設置されている設備についての扱いのトラブルが多くあるように受け止めています。契約時の第14条書面や契約書などが交付されると思いますが、消費者にとっては充分理解するまで読み込みことは大変なことと思います。
契約	・先方の決められた通りですので、あまり疑問にも思わず契約いたしました。
契約	・昔からの取引で契約についてはっきりしない世帯がある様です。確認する意味でも契約書を作成して互いの信頼関係を確実なものにして将来につなげていってほしいと思います(書面は家族がわかる所に保管していただく)。
流通	・集金時、容器の交換時に安否確認し、地域を見守ってほしいと思います。
広報	・その他について LPG車に遭遇しました。車のナンバーの上に高圧ガスのプレートが取り付けられていました。うまいPRだと嬉しくなりました。
契約	・消費者に理解出来る契約・取引の安心さを提案してほしい。価格が自由に決められるシステムで1ヶ月半分位の値段という家庭もあります。
契約	・契約内容について、素人の消費者に分かりやすい丁寧な説明を希望します。
価格	・私の家では食べ物関係の仕事をしています。自宅、お店も全部ガスです。かなりの料金になります。少し料金を安くして頂けたらと思います(風呂、店も全部)です。

北関東

保 安	・短時間で異常点検が行えること。迅速な復旧が可能であること。信頼できる販売店が身近にあること。
流通	・都市ガスと違って各個人宅ですので、安心が選択出来るのでLPガス家庭用ガス発電機が安く買えたら需要が増えるかと思います。
災害対応	・災害時に避難所などになる公共施設等へのLPガス設備の設置を充実させていくことが必要と思います。
保 安	・安心・安全な事
災害対応	・災害がおきた時にライフラインが途絶え復旧するのに期間がかかるがLPガスの場合、即使用することができ、復旧が早いので、他エネルギーに加え必ず常備使用されているのだと思う。大震災時、LPガスの活躍は立証済である。
災害対応	・3.11の大震災時には軒下にあり、販売店にすぐ安全点検していただき近所の皆様に温かい食事をおすそ分けすることが出来ました。 また、公民館等に素早く届けていただき、避難されている方に温かいみそ汁とおにぎりを提供し、とても喜ばれました。
災害対応	・各市町村に災害対応LPガスバルクの設置場所を決めておき、市民に知らせておくことが大切であり、必要だと思っています。
供 給	・災害時の備蓄については、LPガスの輸入価格が安くなれば利用すると思われれます。原子力より安全だと思いますので、大いに普及出来るようにすれば良いと思います。
災害対応	・電気に代表されるように、電力9社の独占のもとに大量生産大量消費の傾向がありましたが、東日本大震災と福島原発事故を契機に、地域ごとで、住民、中小地元企業などが自ら生産して自ら使うものと言う小規模分散型の地域主体の生産と消費と言う発想が必要ではないか、という考え方が出てきていると思います。 この小規模分散型と言う意味からすると、LPガスはその要件を満たし、災害時には威力を発揮するエネルギー供給形態であると思います。
災害対応	・エネルギーも限界があるので省エネに個々が心がける必要性を感じている。震災後、特に。いざという時に、非常用発電機の必要性も感じているなかで、LPガスを燃料として出来るならなおのことである。
供 給	・エネルギーの安定供給に関しては、分散型で地域ごとにエネルギー供給できるようなシステムを実現してほしい。 将来の天然ガス利用のシフトの話を知りたい。
価格	・LPガスの料金は自由料金ですが、ガソリンや灯油などのように輸入価格がすぐに反映されず、2ヶ月ほど先になります。このことが価格の理解が進まず、また不満にもつながっていると思います。
価格	・石油情報センターから平均価格が2ヶ月に1度発表されています。全体的に、やや高値安定に思えるのですが・・・。
価格	・消費者の中で一番関心を持っているのが料金についてです。ガス料金はどうして他の商品のように一定ではないのか、と質問を受けます。
価格	・ガス料金の一定化が望まれるが、販売店の事情や地域格差の違いがあることはわかるが、その違いを消費者に納得できるよう対応することが大切です。例えば、LPガスは自由料金制であることなど。
価格	・料金の透明化をはかること。
価格	・お互いに消費者からの疑問や不満などがあった場合は、解りやすく信頼関係を保ちながら説明してあげるように。
価格	・LPガスは自由料金なので、同一事業者でも価格が違うことは当たり前なのですが、公共料金と思っている消費者もおり、説明していただいた方がいいと考えます。
価格	・価格設定に透明性がなく、価格についての説明が全般的に不足していると思います。わかりやすい料金表を配布すべきだと思います。
流通	・他業者からの勧誘があり、事業者を変えたいという安い価格を提案されるなど、場当たりの対応が不信感を招いているように思います。
価格	・大口需要家の単価は安くなるなどのルールをわかりやすく示して欲しいと思います。

価格	・他のエネルギーと競争できる価格で提供していただきたいです。
価格	・業者によって料金にばらつきがあるようですが、ロコミで安いと言われている業者と契約している場合が多い。しかし、一度契約すると他の業者と比較することはあまりない。不満の声はあまり聞こえてこない。
価格	・以前から比べると、近所にあった販売店がなくなり小売店が吸収され、価格が安いか高いかわからない面がある。
価格	・使用料金よりも基本料金の方が高く、疑問に感じている。 LPガスの基本料金は各社でどのように決められているのか。算出の根拠を教えてください。
価格	・B5版の資料、LPガスのある暮らし2013の5ページ下段に、「小売価格については料金の透明性を高めるために原料価格変動等に伴う価格反映制度を導入しているところもあります」と記載有。それはどこですか？導入の結果、消費者の反応はいかがでしょう？
価格	・平均価格より安く提供していながら、広報が下手な事業者が多いと思われます。もっとPRをすべきです。
価格	・販売店では消費者との信頼関係を保ちお互いに情報交換やネットワークを持ち、悪徳勧誘業者などが入りこまないような体制をとり、消費者が安心してガスの使用が出来るよう務めることが大切である。例えば、チラシの配布、ガスの内容についての説明会、料理教室を開くなど話し合いの場の設定。
その他	・ガス料金の徴収について考慮する必要がある。例えば、料金の未納入などがある場合の対処など。
価格	・価格の透明性を確保し、消費者にきちんと価格について説明できるようにして欲しいと思います。
価格	・できるだけ安く提供できるよう努力して欲しい。
価格	・原料価格が下がったら速やかに反映してください。
価格	・新築住宅の時に、消費設備、供給設備の料金の負担をどうするかについて消費者と協議して説明した上で決めて欲しいと思います。LPガス料金に上乗せしているかどうか、消費者がわかるように明確にしてください。
流通	・価格競争は仕方ないと思うが、消費者にとって安くて、安心できる業者がいい。それには、日頃からの対応によって業者と消費者との信頼関係が一番だと思う。新しい情報提供も必要だと思う。
流通	・販売店によってサービス面・メンテナンス面において、親切に対応していただければ。
契約	・液石法の義務14条、書面の交付の徹底を望みます。 特に料金表、料金変更の際は事前に新たな料金表を交付するか、毎月の検針票などでもOKのようですが、毎月の検針票では消費者の気づきが遅くなったり、わからなかったりがあると思います。「値上りになります」と新たな料金表を配るのが一番良いと思います。
契約	・B5版 LPガスのある暮らしのP5 小売価格を改定する場合の手続、A4版 LPガスガイドのP17 下段②小売価格を改定する場合の手続に消費者と販売店が新しい料金について合意することが必要です。(販売店に受け取った書面の料金改定に合意しないことを伝えずに改定後の料金を支払うと、料金改定を認めたこととなります。)合意したかは、どこでどのように確認しているのでしょうか？大事なことです。合意しなかったら値上げはされずに済むのですね。
契約	・商品の取引には必ず契約の書面を取り交わすことが定められている。契約書を見ると書面の明記がはっきりせず、内容を読み取り理解するのが困難である。(字などが細かい。)
契約	・消費者は書面等の内容の確認はしっかりし、不明な点がある場合は説明してもらうことが大切である。
契約	・地元のガス販売店からガスの敷設をしていただいた時、契約書を取り交わし、不明な所などをきっちり説明していただきました。販売店とは長期にわたり信頼関係で取り引きしています。
契約	・新規契約の時に、LPガスの供給設備、消費設備の負担について契約書をもとに消費者が理解できるように説明してください。開栓時に慌ただしく契約させてしまうと後で問題になることがあります。 業界の商習慣が消費者不在で行われることが問題だと思います。

契約	・LPガス販売事業者ではなくいわゆる勧誘専門の事業者が消費者宅を訪問販売で訪ねていますが、その時のセールストークに、嘘があるという苦情が多く聞かれます。ずっと最初の安い価格で提供しますなどのような、約束しかねることを言っています。どうしてそのようなことが約束できるのでしょうか。
契約	・配管代の支払い、設備貸与契約などは消費者も忘れがち。減価償却あと何年あるなど年に1度はガス販売店と消費者で確認しあうこともして欲しい。
契約	・ブローカーを使った他販売店からの訪問販売について、大変悪質です。価格の安さを売りにしながら、契約後たびたび値が上がる。やっとおかしいと気がつく消費者が多い。ブローカーを使って勧誘している事業者は反省すべきです。また、お客様から他の販売店に代わりたいと言われた事業者は、これまでのお客様とのコミュニケーション不足、料金に関する説明不足、保安の確保に関する説明不足を見直すべきです。トピックス(実態調査)6の他販売店からの訪問勧誘頻度下段のコメント、全体としては約8割は全く訪問がないとの回答には疑問。(共働き含むですか?)
保安	・毎年LPガス協会やセンターの職員が販売店から委託されたとの事で点検調査に来てくれますが、色々と点検しアドバイスなどいただきとても安心しています。良い制度だと思います。
契約	・消費生活センターへの相談は、切り替え事業者が訪問して価格が安くなるといわれたが信用できるのだろうか、断つてもしつこく訪問されて迷惑だ等の内容が多くあります。頻繁に勧誘されるのが煩わしいのでオール電化に変えたいという消費者の声も聞きます。他エネルギーとの競争をする前にLPガスのイメージを低下させるような顧客の奪い合いはやめたほうがいいのではないのでしょうか。
価格	・他業者より安く提供するなら、価格を書いたチラシを入れたり、ホームページで価格を宣伝してはいかがでしょうか。どのようなサービスがあるのか料金メニューも広くお知らせして競争して欲しいと思います。
契約	・ボンベが屋外に設置されていることから、道路に面してガスボンベが置かれていると不安に思う事がある。契約時に設置場所もしっかり確認し安全を絶対忘れないでほしい。
流通	・古くからの取引ですので安心してしています。
災害対応	・ライフラインの復旧の速さ。
災害対応	・軒下在庫。
災害対応	・避難所の炊き出し用や給湯用などエネルギー源として簡易に取り扱いが出来ることが最大のメリットだと思います。
災害対応	・点検、復旧が早いこと。
災害対応	・どこへでも運搬が可能で迅速に事が運ぶからだと思います。
災害対応	・家庭においてもカセットコンロとカセットガスがあれば、手っ取り早く食事などを作ることが可能であるから。
その他	・電気や都市ガス等は広域に布設されているため、復旧に時間がかかるため。
災害対応	・LPガスは常に在庫が家にあるので、災害時にはなくてはならないエネルギーです。消費者に選ばれるためには価格が他エネルギーと比べて高くないことが条件です。
災害対応	・手間がかからないことと安全性。普及の早さ。
災害対応	・短時間に供給できること。転倒しない限りすぐ利用できること。
災害対応	・火力が強いこと。器具・道具があれば大量にできる。
災害対応	・電力はライフラインの復旧に時間がかかりすぎます。都市ガスエリアでも大きなマンションで住民が多勢のところには、災害対策用LPGバルクシステムの設置を増やしていくように望んでいます。ガス販売の事業所にバルクシステムの設置を自ら備えておくことも望みます。これから震災が起きたときには地域住民から感謝されることと思います。
災害対応	・災害時などのため、LPガス供給基地(備蓄)を分散させておく必要があると思います。

災害対応	・基地が近くにあると災害が起った時など、素早い時点で基地からの供給ができる。
災害対応	・エネルギーの安定供給ができるのは、LPガスだからであると思います。
災害対応	・家庭に50kg用のボンベが2本設置されているが、1本が空になるのにはかなり日数があり2本あればとても安心です。
災害対応	・大きな災害の時にいち早く供給再開できるLPガスは頼もしいエネルギーです。単一のエネルギーや大規模な設備が必要なエネルギーだけに頼ることは私たちの暮らしが大変脆弱な基盤にたっていることになってしまいます。 エネルギーの多様化と分散型エネルギーの利用はこれからの暮らしに不可欠と考えます。特に都市部での災害時に対応できるように、LPガスを日ごろから使うことは大切な選択であると考えます。
災害対応	・家が全壊してしまった場合を除き、災害時電気は止まっても、日常使っているボンベが大きめであれば家で何とか生活できる。公民館、学校など避難場所になる場所に設置して、点検を兼ねてLPガスの使用訓練をすると良いと思う。お祭りなど地域のイベント時にも災害時を意識してLPガスの利用を勧めたらどうでしょうか。
災害対応	・2本のボンベがあるので、長期の使用が可能のため安心して使用することができる。
価格	・LPガスを使用していて何の不便も感じませんが、価格は大分都市ガスの方が安いと聞きますので、せめて価格は都市ガス並になればいいのにはと思います。(LPガスと都市ガスの供給形態が違うのでなかなか難しいでしょうが。)
災害対応	・災害時に於ける取扱いの説明。
流通	・集中監視システムにより業務と疎遠になってしまい、いざという時に大丈夫なのかと不安になります。
契約	・保証金をとる会社(事業者)があると聞きます。何の為の保証金なのか。
契約	・今後、特に高齢者の方が多くなりますので、納得するようにわかりやすく丁寧な説明が必要になってくると思いますので、少々手間がかかるかもしれませんが是非お願いしたいと思います。
保安	・安心がもてる。これが一番だと思います。何事も安全安心が第一。
供給	・国と民間企業に備蓄義務があるということがエネルギーの安定供給につながり、もしもの時安心がもてる。これこそLPガスだから出来ることなのです。
災害対応	・震災後いち早く復旧、災害に貢献されたことは、我々は改めてLPガスに感謝とこの熱源の威力を新たに、認識したのです。
需要	・今、電気不足、電気不足、と報道されていながら、マンション、アパート、新築家にはオール電化やIHがどんどん増えています。震災に強い、火力も高い、LPガスの普及は、電気に押され気味に感じます。
価格	・LPガスの夏料金と冬料金の差はありますか？
価格	・なぜLPガスが見直しされないのか？ 料金の不透明さがあるようです。 同じアパートにおいても同じガス屋さんでありながら、お隣同士の料金が違う。
価格	・まして台所にIHがあれば、一番高い単価に設定されてしまう。また、熱源はLPガスだけのアパートの住人ならばお値打ちにされる。と差があるようです。 人を見て判断されるようです。
価格	・この点については若い人からの声で、LPガスの価格に差があり、水道、電気のように全家庭一律でないことから、疑問が出るようです。
需要	・個々との契約でしようが、その辺に便利の良く、安全な熱効率高い熱源が若い人に普及していかないわけがなく、期待します。
価格	・都市ガスの施設のない地域なので、LPガスで満足しています。都市ガスは安い、と聞けば関心もあります。

価格	・ガス料金の請求書には使用量と金額が記載してありますが、明細の記載がないので、きっちりして欲しいと思います。
価格	・料金の値上げ、値下げについての通知をして欲しいと思います。
契約	・20年前はガストーブを使用していたので新築の際に販売店にガス管を埋設して頂きましたが、工事費支払いの覚えがなく現在に至りました。LPガスガイドによると消費者側が支払うべきだと気がつきました。
契約	・40年前からLPガスを使用していますが、書面を見た記憶がありません。重要なことなので、保管しやすい形にして、交付して頂きたいです。
災害対応	・LPガスは分散型エネルギーなので便利です。災害時の生活支援のため、節電のため等、利点が多いと思います。
災害対応	・個別供給の為、迅速な点検、復旧、持ち運びが容易で、すぐ利用出来るからだと思います。
供給	・国家と民間の備蓄が多くあり又劣化しないので、長期間の使用が可能で安定した熱源供給が出来ると思います。しかし輸入に依存している為、中東での戦争による輸入の中断が懸念されます。
価格	・価格の統一がされないものでしょうか。価格の設定方法が不透明である。値上げ前に事前説明をするべき。
価格	・業者ごとに色々な情報の提案等特長があれば、より、特に料金制度、基本料金、従量料金について等々の説明や個々をアピールする。
契約	・契約時の書類の多さにびっくりです。永く持っていなくてはならない書類とそうでない書類があると思います。もう少し簡単に出来ないものか。
保安	・業者変更時ですがメーターが業者によって違うのでメーターの取り替えがありますが、統一されないものでしょうか。
流通	・契約したら毎月一回計量時に一人暮らしや高齢者宅に声かけをして、地域密着型になればいい。
災害対応	・個別供給するLPガスは一戸単位ですべてを行う為、対応が迅速である。
中部 広報	・備蓄義務や軒先容器の在庫等、私たち消費者はまったく知らないことです。もっとアピールをしてLPガスのことについて、災害の時はどうなのか等々世間に流すべき。
価格	・LPガス料金は、都市ガスに比べ一般的には高いと言われていますが、具体的にどれほどの差があるのでしょうか。
価格	・最近、近所の家で都市ガスやLPガスをオール電化に替えていって、ガスから電気への切り替えが多くなるのではないかと思います。そうなれば、LPガス料金は、今より上っていくのではないのでしょうか。
流通	・「いつのまに切り替えにきたのかわからない。留守の時は仕方がないが、声かけぐらいして欲しい。」との声をよく聞きます。
広報	・LPガスの良さの啓発が足りないのではないのでしょうか。
災害対応	・安全に保管できて、中身が減らないならば、非常時用の乾電池のように常備用品として家庭に普及させる。(地域の催しのバーベキュー大会等に貸し出されるボンベの半分ぐらいの容量のもの)
広報	・住宅建築業者にLPガスも選択の1つとして提案してもらうようにする。
供給	・シェールガス革命などと言われ、日本もカナダから輸入すると聞きましたが、LPガスと価格がどれほど違うのでしょうか。
価格	・料金に関する不満が多い。
価格	・50キロボンベを購入しているのに請求書は立方でくるのでわからない。
価格	・突然、値上げを請求書に同封してきて、その理由が「今まで上げなかったのだから」というのでは納得できない。世界の動向、日本のLP業界の実情、そしてその個人店舗が、どのような努力をしてきたかをその家にきて説明して欲しい。

価格	・消費税の値上げを前に困る。
価格	・口座引落としなので、引落とされてから値上げを知った人も多かった。
価格	・県外で都市ガスを使用していたので、料金が安く感じる。都市ガスとの違いについて詳しい説明が欲しい。
価格	・料金は各会社の自由設定になっているようだが、同じ条件で元売から購入しているのだから内緒にしなくても、業界他店の状況も説明してほしい。
価格	・県外から来た人に料金に対する疑問が多いので、なぜこの料金なのかを説明してほしい。
価格	・値を上げる時は通知が来るけれども、どうしてこの料金なのか具体的に説明してほしい。又、値が下がった時は(新聞で情報を知る)は、下げるとい通知が来ないのは何故か。
契約	・マンション等で家主がその店と契約している以上変更出来ないが、納得して使用したいので変えさせて欲しい。又その折、取りはずし等いろいろ料金が課せられるようだがやめてほしい。
契約	・事故があった場合に備え3000万の保証保険にかかっていると業者が言うが、それは業者に保証ではないのか。
広報	・市のガス展では、古いガス器具もメンテナンスしたり、器具購入の際にも割引があったりするが、プロパンガスではない。どうしてか？
広報	・個人店舗のプロパンガス展でなく、プロパンガス店全店で、市のガス展のような催しをなぜしないのか？
災害対応	・災害に強い点だと思う。
災害対応	・電力の復旧が容易ではない時に、ボンベの運搬は可能であり、即、煮炊きする事が可能である点。しかし、電力がないと可動しない暖房については無力である。
供給	・煮炊きするだけの調理については備蓄義務があり、又、近県との連携が出来ている事は非常に心強く良い。
災害対応	・煮炊きするだけの調理については備蓄義務があり、又、近県との連携が出来ている事は非常に心強く良い。
その他	・電力と一緒に使用しなければ可動しない器具(暖房用、風呂用)等については、冬期雪国では意味をなさない。ただその時動かすことの出来る器具があると聞いたが、どういうものがどういうルートで購入出来るのか、価格はいくらか等、周知されていない。
価格	・経営店(事業所)によって、価格が違う事は疑問。
価格	・料金設定の基準は、全国一律に出来ないのか？
価格	・個々に違うのも利用者にとっては納得いかないのでは？と思う。
価格	・情報(公表)等が少ない。
流通	・取引商店の接点(顔)を望む。(訪問の回数を増やす。)
流通	・客の家庭状況(例:高齢者夫婦、独居等)を知りたいことを望む。
価格	・料金の徴収(引落とし)改訂説明も全て手紙では少しサービス不足では？と思う。
契約	・全てが委託では利用者全体が減っていく。(オール電化、都市ガスと扱いが一緒と思われても仕方がないのでは？)
保安	・年間2回位は利用状況や点検等、販売店がする事ではないでしょうか？
災害対応	・ライフライン等に関係なく、自家で対応出来る。

近畿

広報	・災害には強みがある事をもっとPRをする事が大切だと思う。
広報	・ガス器具も進化して危険度が少ない(安全性)という情報を販売店等が個々に運動することが必要。
価格	・生活に必要なエネルギーの価格は、景気に大きく左右されることなく、低所得者層の家庭でも安心して使える価格設定であって欲しいです。
契約	・くらしの様々な場面で契約が行なわれていますが、その契約規模の大小を問わず、契約の内容を正しく理解し、契約書や定款を十分に読み解くことをしないor苦手な消費者が多いように思います。事業者側も消費者をだますスキルの高いセールストークをやっけてのける悪徳者がいる一方で、良心的な業者主さんであっても、説明能力が不足しているorそういうものを磨く機会が少なかった方もおられるかと思えます。消費者側も、消費者団体が率先して、契約行為をきちんと行なえる消費者育成につとめますので、ぜひ事業者側でも、商品説明・契約手続きの能力向上に向けて教育活動を徹底して頂きたいと思えます。
供給	・配線・配管設備が広い範囲で破壊された場合でも、各家庭へ宅配できるという特性。
災害対応	・東日本大震災のときは、供給するLPガスの在庫はあっても、供給するのに必要なガソリンが圧倒的に不足しました。安定供給を守るためにはガソリンの確保の準備も重要です。
価格	・経済的にもエネルギー、LPガス料金が安定していることが望ましい。 世界の状況において、決して安心した安定価格であることが、今後望むことができないのではないかと。今後、安定価格のために、国の施策としてどんなことが進められているのか。
流通	・近所にある業者に対して、厳しいことは言いづらい。 出来ればハガキ等を渡して、自由に記入するやり方が望ましい。気兼ねせず要望が出来る。
契約	・解約して他の業者にかわりたいが、なかなか言えず不満がある時がある。言葉のやりとりで不満がある。
流通	・すべての事業者がもっと地域と密接に交流される事を望む。
広報	・事故が最近少なくなったが、やはり使用方法を十分に知らせる事が必要。
災害対応	・災害直後から利用できる。
流通	・事業者が常に親しく、サービスが行届く。災害状態を把握してもらい、通報してもらえる。
災害対応	・2本設置の本数を増やせないのか。
災害対応	・公的場所に設置義務を求めたい。(集会所等)
価格	・私が住んでいる丹波市は都市ガスがないのと、だいたいの家庭では太陽光を多く取り入れ、オール電化の家が多くLPガスと比べて使用料は安くなっている。LPガス料金は本当に高い料金。人件費とかでしょうか？
保安	・故障、点検についてなるべく早く対応してほしいと思っています。
保安	・LPガスは都市ガスと比べて安全性が高いと思います。 災害が起きた場合は、すぐ対応できるし大きな事故につながらないからです。
広報	・原子力に頼る事が出来なくなってきた日本、これからLPガスの重要性が必要になってきたと思います。オール電化より都市ガスよりすぐれている所をもっと教えてほしい。そして、出来れば価格を安く魅力あるLPガスで住民にアピールしてほしいと思っています。 今年2月3日に丹波市消費者協議会にLPガスさんに講演を依頼しております。300人の会員中(50人程度～)予定をしています。まだまだLPガスを家庭で使用している消費者ですが、良い所、又注意する事、利用度等を説明して頂ければうれしいと思います。遠方ですが期待しておりますので宜しくお願いします。
価格	・戸別配送のコストなどを考えると販売店における多少の価格差は必要なのかなとも思いますが、バルク供給が普及すれば、価格差も少しは解消されるのでしょうか。

流通	・私の知るLPガスを使用する多くの家庭では、事業者と顔なじみである場合が多く、契約及び取引が比較的にスムーズに行われているようです。LPガスの供給契約の解約も問題なく済んだと聞いています。 “何かあった時は事業者さんに来てもらう、”と話す消費者が多く、事業者さんを信頼しているようです。事業者さんは声かけや、問題点への素早い対応などによって、その信頼に応えていただきたいと思います。
災害対応	・他のエネルギーに比べて、早期に復旧可能であること。個別に復旧できること。
供給	・安定供給という面では、LPガスは約3/4を輸入に頼っているので、何らかの事情で輸入ができなくなった時、いくらかの備蓄があるとは言っても安心はできないと思う。 災害時の一時的な対応はできても、将来的にはどうなのか知りたい。
価格	・料金制度の仕組み(基本料金・設備利用等料金・従量料金)について、知らない消費者が多い。
価格	・料金表は、ほとんどの家庭ではもらっていないので、LPガスの料金だけが目につくのではないだろうか。
価格	・料金に関する相談が多いので、LPガス料金は自由設定である旨と、それぞれの販売店の料金表に基づいて、料金の仕組みを、その販売店の誰でもが消費者に説明できるように教育しておくことが大事であると思う。
契約	・戸建ての借家などに入居している消費者は、14条書面をもらっていないし、ほとんどLPガスについて(配管などの設備のことなど)は知らないと思う。だから料金が高いから他の販売店に替えたいなどのトラブルが発生するのではないだろうか。
契約	・戸建ての借家やマンションなどに入居する消費者に家主と共に販売業者も行き、LPガスの契約に関する書面と販売店の料金表を渡し、丁寧に説明することも一つの方法だと思う。
災害対応	・災害時に初期対応に適したエネルギーである。 移動に便利である。
災害対応	・備蓄基地が全国にあることを知り、安定供給が出来るので安心している。
価格	・LPガス料金は、円安などによる価格変動は、ガソリン価格ほど消費者が日常身近に分かり易く目にする事ができません。料金設定が配布される請求明細表に印刷された表示内容では分かりにくい。
価格	・長年信頼関係でつながっている販売事業者と顧客、料金等請求明細書が月1回郵送で届きます。ボンベ配置、検針、請求、引落としと便利ではあるが、値上げの際(価格改定)には消費者が納得のいく方法はとれませんか。
流通	・イベント開催時、器具等の販売中心でなく、料金など消費者が疑問などを気軽に聞けるブースも設けていただけたらと思うのですが。
流通	・契約し取引を始めると、販売事業者(ガス事業者間)を変更することはあまりないと思いますが、消費者より、LPガスからオール電化に変更することを告げられた時、ガス事業者はメリットなどPRに取引継続の引留めはできますか。
流通	・ガス警報器の交換時、使用ガス器具の点検がありました。丁寧に対応していただきましたが、ガスコンロの購入を求めた時、エネルギーフェアで買われたら安価とのこと。器具の説明、パンフレット配布など、消費者が購入の際に必要な知識を得る機会を与えてもらえませんでした。仕事分担により営業はできないのですか？販売と購入のチャンスはこの様な時ではと思いますが。
流通	・災害時ガスはボンベ、コンロ等が有れば、どこでも使用することができ、ライフラインの復旧にいち早く対応ができる。但し、日頃より事業者と消費者が顔を知る間柄であり、コミュニケーションが取れた信頼関係がないと、即対応が不可能になる場合がある(災害時連絡等の行き違いなど)。
流通	・高齢者世帯が増え続ける現在、生活に直結したエネルギーは、災害時はもとより、日常に於いても高齢者が安心して暮らせる安定供給を望みます。
災害対応	・地域密着型として、業者の方に直接届けてもらうことができる(利便性、供給安定度)。
価格	・基本料金はどんなにして決めているのか。
価格	・料金は非常に安くて助かっていると全員が申されましたが、都市ガスの方がまだ料金が安いとの事、本当でしょうか。

中国

価格	・ 二部料金制と三部料金制についても少し詳しく教えてほしい。
流通	・ 販売事業者の態度は非常によろしい。高齢者に対しての気配り良好。
保 安	・ LPガスが一番安全
その他	・ 特に蒸し器を使う場合非常に早く出来る、火力が強い。
保 安	・ 停電になっても心配がない。
保 安	・ LPガスは昔と違って非常に安全である。
価格	・ 使用量もいくら使っても料金がさほど高くない。
災害対応	・ 災害時には非常食を作るのに大変助かっている。
災害対応	・ 防災訓練を何回もやっております。
価格	・ ガス料金については、常に疑問を感じています。 搬入業者によって、単価が違うこと。利用者にとって、この情報は、不可解だと思いながら日々暮らしの中で必要不可欠なエネルギーなので、疑問を感じながらも行動は起こせなく、単価の高さに、家計面で頭を悩ませているのが現状です。
価格	・ ガス料金の単価の値上げ等、案内は頂いていますが、数ヶ月の間に数度の値上げには辛い現状です。 その提案について、他の情報を持たない利用者にとっては、反論出来ず、受け入れるしかないのが現状です。納得出来る説明が欲しいです。
流通	・ 地域の販売業者を利用する事が、当然の様になっている現状では、契約取引に関して丁寧な説明はありませんでしたが、それが当然の様になってしまっている現状がある。 地域のお付き合いという事なのかもしれないが・・・、特に料金については、説明がないのが現状です。
流通	・ 取引については、きちんとしたルールを守るべきだと思います。
流通	・ 契約及び取引は、ルール通り行いべきで、質問があれば聴ける対応が必要です。
広報	LPガスの利点 ・ 容器で運べることや、揺れ防止が取り付けられている。
災害対応	・ 基本的にエネルギーはリスクに備え分散するのが大切だと思っています。 環境の面でも、エネルギーは分散型だと常日頃感じています。
供 給	・ 非常時にLPガスが役立っている事は知っていますが、やはり、殆ど輸入である事に危機感を覚えます。 自国で備蓄出来るガスがあれば、早目の対応をすべきだと日頃感じています。
価格	・ LPガス料金については居住地により地域間の格差がありますが、仕方がないと考えます。
流通	・ 消費者への販売の際、詳細な説明は必要ながら、ガス容器取替の際、高齢者(一人暮らし)等の家族に声をかけて使用上の注意を再確認と安否確認もされたいと思います。
価格	・ 消費者と契約の際、明確な説明を頂きたい(料金等に対して)。
価格	・ 液化ガスの輸入価格の変動による販売価格への転化はどの位の幅があるのでしょうか。
流通	・ 取引については販売店が一店舗だけなので、競争又変更の余地がありません。 ・ 料金、サービス等に対しては良心的であって欲しい。
災害対応	・ 災害時どこへでも移動が早く(ガス容器)出来、屋外でも屋内でも使用出来る。
災害対応	・ 交通手段が閉鎖されても小回りがきき、被災地周辺より補給が出来る便利さがある。

災害対応	<p>・H25.7.28山口市阿東地域での豪雨に河川の氾濫、山の土砂崩れ等により、人家が流されたり、一集落床上浸水となり、避難者に炊き出しを致しました。</p> <p>その際、幸いな事に電気関係は被害がなくほっと致しましたが、水道は全戸断水となり大変困りました。炊き出しに使用いたしましたのは、電気系統ではなくLPガスにて煮炊き出来ました。供給面でも安心して使用し有効利用させて頂きました。</p>
価格	・ガス料金について、最初の説明があったかもわからないが、その後一度も説明を受けていない。(約30年)
流通	・毎月ガス使用料金(請求額と同じ)のみの請求書がくるだけ、口座振替のため一度も額も話をしたことがない。
価格	・この度「LPガス料金改定のお願い」の文書が配られたが、利用者としては業者を変えることもできず、一方的に認めたということになる。
価格	・各県で行われている価格調査では、最低と最高と平均が出ているが自由料金の理解が利用者にはできていない。不満がある様である。自分のところがすごく高いとの声をよく聞く。
流通	・年間に一度は訪問し現状の説明や新しい事等、利用者に理解を求めること。
災害対応	・災害時の対応等、特に高齢者にはしっかり説明すること。
契約	・長年の取引なので、こんなものだと何も思わない人が多いのではないかと。何年かごとに契約の内容や取引の説明があってもよい。
流通	・高齢者にオール電化の進めが多くあり、便利なのがPRされている。LPガス業界からの話は聞かない。
広報	・各県で行われているお客様懇談会の消費者委員他の立場の人が長年同じ人がつとめているが理解が広がらない。会議をしたことで終わっている。LPガス業界のためにも広く周知の方法を考えるべき。
災害対応	・地域にある販売店の速やかな対応が大切。
災害対応	・災害時の不安を取り除くこと。
供給	・国の責任としてしっかりとした備蓄制度を。
災害対応	・各県単位での備蓄の安定が必要。全国どこで災害が起こるかわからないし、どの地域でもフォローできる体制がいる。
流通	・検針及び補充はどのような基準でしているのか。たとえば使用頻度でしているか、定期的に補充するのか。(この冬、2つのタンクが空になり料理途中で連絡して持ってきてもらいました。対応してもらいました。対応はとても親切でしたが、とても不安でした。)
保安	・定期的補充を前提にしているので、連絡先が解りにくい。もし事故等の時にどこへ連絡するなどの対応は必要かと。
流通	・消費者の選択は、情報と社会情勢(はやり)によって決められます。エコと言われれば、経済的に言うと、優先する情報によって決まって、あるときの電化住宅に移行したのでは。
広報	・優先すべき情報を消費者にどんどん伝えるべきと考えます。東日本大震災より消費者は、エネルギーの将来の姿を考え直そうとしている時です。
災害対応	・大災害時の供給体制について、既存施設のLPガス、たとえば給食センター、料理教室の施設、使用頻度は少なくなったが、今も常設している施設、調理施設等の防災マップの作製、把握も、有効な備蓄になると思われます。
価格	・価格の安定価、公正価を希望します。
四国 価格	・LPガスの価格統一できないか。
価格	・所により又、各家庭で料金の違いがあるが統一できないか。
価格	・都市ガスとの違いは？

契約	・一般消費者は内容がわからないから、業者の言いなりになっている。
価格	・料金の公明か、インターネット、新聞で料金を明細にだしてほしい。
価格	・同じ会社でも家庭で違いがあるのはどうしてか。
保安	・一人暮らしの高齢者からの相談ですが、最近転居して来た者です。LPガスの取扱いが心細いのでオール電化にしました。が、小型のLPガスの容器がずっと前から残っているのですが、始末の方法がわかりません。どうしたらよいのですか。
災害対応	・都市部においては、日常的に都市ガスへの依存度が高いため、災害時の都市ガスに替る熱源確保は特に重要と考えていますが、食料品、水など自治体・事業者等において簡易(小)型LPガスの備蓄が望まれるのではないのでしょうか。
災害対応	・学校・地域の公民館など災害時の避難所となる施設については、都市ガスとLPガスを併用できるように設備を整える必要があるのではないのでしょうか。
災害対応	・都市ガスとLPガスを併用できないか。
供給	・LPガス協会と自治体との連携と同時に国民のライフラインとして相応な国家備蓄を維持してください。
価格	・都市ガスより料金が高い。公共料金とは違うといわれるが、消費者にとってはいったん契約すれば気軽に変えることもできない。消費者が納得できる料金設定が望まれる。
価格	・あまりにも差があるとその評判がLPガス全体のイメージを悪くする。
価格	・消費者が納得できる料金設定が望まれる。
契約	・事業者ごとの自由価格ではあるが、一旦契約すれば、車のガソリンのように給油所を選べないということを消費者目線で考えてもらいたい。
契約	・一旦契約すると変更が難しいことや費用負担など、契約時にきちんとわかりやすい書面で提示し納得してからの契約をしてもらいたい。
流通	・契約消費者に対する対応は私の知っている範囲では定期的に来てもらえて問題ないようです。価格だけでなく安心と満足が消費者に伝わるように頑張ってもらいたい。
災害対応	・都市ガスは復旧に時間がかかるから。
保安	・カセットコンロ用のガスのスペアは保存しているが、LPガス(小さいもの)が災害時の備えのために家庭に備蓄することは可能か。そのための安全面での規制があるのか。
災害対応	・各自治体や自治会などと災害時の契約をあらかじめかわしておくことが望まれる。
供給	・液化ガスの輸入量などの安定化について将来的な予測を教えてください。
価格	・他のエネルギー(電気、都市ガス)に対して、LPガスの価格は高いのか、どうなのか。例えば、水1ℓを沸かすエネルギー価格の比較など、わかりやすい数字があるのだろうか。
価格	・原油価格に対して、販売価格がどう変化するのかなど、消費者にわかりやすい説明文などを作ってほしい。
契約	・関東地方では契約トラブルが多いと聞いているが、九州地方はどのようなトラブルがあるのか。また、悪質な業者はどんな手法を使うのか。
契約	・オール電化にした時の室内の配管設備の撤退料が必要と要求され、トラブルになった例を聞いた。契約時に必要な書面は、「取っておいてください」などの注意書きが必要だと思う。捨ててしまい、「知らない」と言っている消費者が多い。

広報	<ul style="list-style-type: none"> ・復旧が簡単で速いのだというPR。 また、卓上コンロも非常用として用意するPR。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭用のガス発電機をもっと普及させると良いと思う。
価格	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所によって料金が違うことについて、選択するために料金を調べようと思ってもわかりにくい。それぞれの事業所から資料を取り寄せるのか。協会に一覧表でもあるのでしょうか。
契約	<ul style="list-style-type: none"> ・たとえ料金の安い事業所に変更したいと思っても、配管施設等の問題で金銭的にも簡単にいかないと思う。
価格	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所の料金の違いはどこから出るのか。料金の差について自由に決められるのか知りたい。
流通	<ul style="list-style-type: none"> ・検針票が配達されない。問い合わせたところ、担当者が配達することになっているということである。その後も配達がない。管理をきちんとしてほしい。
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ・電力エネルギーは、被害にあいやすく復旧も遅い。LPガスであれば、被害にあいにくく復旧も早い。
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ・電力の被害は広範囲にわたる。LPガスであれば個々被害であるため、近隣での助け合いができる等が考えられる。
供給	<ul style="list-style-type: none"> ・安定供給及び、施設の安全点検も十分にしてほしい。
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内の配管等が被害を受けていた場合の応急器具等も用意されているのか。
価格	<ul style="list-style-type: none"> ・都市ガスに比べて高いと聞きますが、比べられることはない。 安全で安心して使えるのであれば、不満はありません。
価格	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安定した供給をしていただければ、料金は常識的なものでいいと思います。
流通	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とのコミュニケーションをしてほしい。 調理器具の展示とか。
流通	<ul style="list-style-type: none"> ・販売店の対応がいいので、安心してLPガスを使っている。
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性に富んでいるから。備蓄制度があるから。
供給	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄義務が課されているので、安全で安定した供給確保がなされているので、安心して生活をする事ができます。
価格	<ul style="list-style-type: none"> ・参考資料としての消費者実態調査結果に表れているように、価格に関して最も関心が高く選択を左右する。以前から意見が出されているように価格体系についての説明不足だけでなく、透明性に欠けることが大きな要因と思われる。電気と比較したり、基本料金に対する説明不足による理解への周知度をもっと認識してほしい。 業界をあげての取り組みの姿が一般市民へ浸透していない。直接対応する販売店との関係がスムーズにいかないことが、信頼感を損ね、価格の安い販売店と比較したり電気への変更につながっていく。
価格	<ul style="list-style-type: none"> ・原油高による高騰が価格値上げにつながることは理解できるが、事前事後の説明、特に文書による連絡がされていない。大半が料金は口座引き落としなので、非常に一方的な値上げとなっている。もっと周知方法について検討、努力をしてほしい。気軽に話し合える関係を平素より行ってほしい。留守が多いことと、メーター検針、その他直接接触する機会がないだけに連絡文書(簡単な読みやすい工夫をしたもの)などを届けたりすれば、信頼、期待感も生れてくる。ガス器具についての相談等にも応じる雰囲気を作ったりするのも効果があるのではと思う。
契約	<ul style="list-style-type: none"> ・販売店と契約を交わすことは、相手方にとって最も基本的な取引の開始となる。余程のことがない限り販売店の変更をしない。苦情の出る内容は契約書をとくと理解すればトラブルは余り起こらないと思う。長期にわたる場合、契約書の取り替えもなくどこに置いているか分からない人が多い。再発行するなりコピーでもして契約書を渡し、保存の必要性をしっかりと伝えるべきである。 特に集合住宅ではなかなか是正されないことが多く、不満が大きくなる。

保安	<p>・以前のように保安点検が毎年行われないので、関係が薄くなる。機器の安全性も高くなり事故も起こらない現状ではあるが、あくまで義務としての保安点検はしっかり完璧に行い、その際業界の取り組みをしっかりと伝えること。この点検表も目につくところに保管すれば、相手方にとって安心感がもてる。場合によっては機器の取り換えを助言することも必要だし、時期をみて確認のための助言が信頼感を生むことにつながる場合もある。</p>
流通	<p>・以前のように保安点検が毎年行われないので、関係が薄くなる。機器の安全性も高くなり事故も起こらない現状ではあるが、あくまで義務としての保安点検はしっかり完璧に行い、その際業界の取り組みをしっかりと伝えること。この点検表も目につくところに保管すれば、相手方にとって安心感がもてる。場合によっては機器の取り換えを助言することも必要だし、時期をみて確認のための助言が信頼感を生むことにつながる場合もある。</p>
保安	<p>・安全性と価格。高齢世帯が多くなり利便性第一の考えから使い勝手のよいこと。炊飯器一つとっても炊き上がりのうまさを比較してもガスが優先している。もっと宣伝の必要性がある。ガスのつけっ放しによる事故防止のため安全機能付きの器具も次々と販売されているが、果たして高齢者にどの程度紹介されているか、電気業界に比較して不足していると思われる。 節電対策が叫ばれ、家庭内での燃料機器に対して検討することが急がれていると思う。</p>
価格	<p>・安全性と価格。高齢世帯が多くなり利便性第一の考えから使い勝手のよいこと。炊飯器一つとっても炊き上がりのうまさを比較してもガスが優先している。もっと宣伝の必要性がある。ガスのつけっ放しによる事故防止のため安全機能付きの器具も次々と販売されているが、果たして高齢者にどの程度紹介されているか、電気業界に比較して不足していると思われる。 節電対策が叫ばれ、家庭内での燃料機器に対して検討することが急がれていると思う。</p>
広報	<p>・安全性と価格。高齢世帯が多くなり利便性第一の考えから使い勝手のよいこと。炊飯器一つとっても炊き上がりのうまさを比較してもガスが優先している。もっと宣伝の必要性がある。ガスのつけっ放しによる事故防止のため安全機能付きの器具も次々と販売されているが、果たして高齢者にどの程度紹介されているか、電気業界に比較して不足していると思われる。 節電対策が叫ばれ、家庭内での燃料機器に対して検討することが急がれていると思う。</p>
災害対応	<p>・国の施策として取り組むこと、一般家庭として心掛けること、事業者として取り組むこと等、分野によって真剣に考えるべき。LNG高騰は原油輸入国も東南アジアのみでなく、アメリカも増産しつつある。シェールガスについても国は今後の施策を見直してほしい。再生エネルギーの多様化は、今後最も期待され実現性が高くなっている。備蓄義務がしっかり守られ安心感のもてる安定供給を心がけてほしい。 今後、太陽光、地熱、風力、水力等のエネルギー源が一般家庭に恩恵をもたらす期待も将来的には大いに注目されると思う。特に大分県での地熱利用は急速に進められると思う。</p>
価格	<p>・自由料金であることは知っていたが、情報量が少なくあまりよくわからないので、現状のところをお願いしている世帯が多いのではないかと思います。 (PRなどはされていますか?)</p>
流通	<p>・支払方法として、自動引落しが普及し、昔のように定期的に集金に来てもらって近況などを話す機会が減ったことはやや寂しい気がしています。 何でもパソコン上で処理され、便利になった反面、顔を合わせることがなくなり、何でも相談できなくなったこと。できるなら月に一度でもお声掛けいただいたら、特に高齢者は心強いと思います。 (料金に関することだけに限らず)</p>
価格	<p>・自由料金制のことは文書ではいただいていると思うが、詳しく教えていただけたら尚有難いです。</p>
契約	<p>・資料によると、契約時、販売店から料金の内訳・契約期間・中途解約条件等の説明を6割以上の方が覚えていないという回答でしたが、販売店ではどの程度の説明をされているのかを教えてください。(説明をされていても、消費者の方がよく覚えていないのでしょうか?)</p>

契約	・契約に関する苦情はどの位ありますか？ 又どのような内容が、どのように処理、対応をされているのかお聞かせいただければ仕事柄とても参考になりますので。
契約	・契約や取引についてのトラブルを避けるためにも、契約時の説明をわかりやすく丁寧に(今以上に)心がけていただくようお願いしたいと思います。
広報	・LPガス利用の世帯に、役立つ情報などを定期的に配布したり、PR活動や地域での交流会を催すなど日頃から(いざという時にも)気軽に相談できるような利用者の立場に立った取り組みを通し、信頼関係を一層築いていただきたい。 (例:ガスを使った料理教室、新商品の紹介、ガスフェアなど、既にされていることとは思いますが・・・)
災害対応	・地震・台風などの非常時の際、(停電になった場合等)オール電化だと煮炊きができない。お風呂も困るなど生活全般において、LPガス復旧速度が早いという点でも非常に大きい役割を果たしていると思います。 やはり生活上不可欠なエネルギーとして大変重要なので、安定供給のためにも大切に無駄なく使わなくてはならないと感じています。
災害対応	・まずは、資源の確保だと思いますが、原油やLPガスは8割以上を社会情勢が不安定な中東に依存しているのと原子力発電所の稼働停止に伴う火力発電用の燃料輸入が増え、貿易赤字を記録していると聞く。円安の進行で燃料調達費の削減が日本の経済にとって重要な課題なので、調達コストの低下に努めなければならない。 省エネについては、官民一体となり取り組む必要がある。私たちにできることは何か、一人一人が少しでも将来を見据え、限られた資源について意識を高めることがエネルギーを大切に使うことにつながるのではないのでしょうか。
災害対応	・どこでも簡単に運ばれる。
保安	・危険がおよぼすとすぐ察知して切れること。爆発しない限り安心です。
価格	・引越し先でのLPガス取扱店のガス料金がわからないまま、高い店と契約してしまうことがあり得る。 ガス料金が取扱店によって違うというのはどうしてでしょうか。業者を選ぶ基準などというのはないのでしょうか。
契約	・取扱い業者を替えたいと思う時、スムーズに変えられるような方法を考えていただきたいです。
価格	・ガス料金表が毎月来ますが、料金の算定方法などがよくわからない。
契約	・近くのガス屋さんと新しく契約する場合、複数の取扱店と比較することができればと思います。
災害対応	・停電の時にも使用できる。
災害対応	・点検が早期にでき、復旧が早くできる。
災害対応	・大規模集中型エネルギーは復旧に長時間を要するということが、今回の災害を経験してわかりました。LPガスはすぐに使えて便利であることが証明されました。各戸で備蓄ができることが、災害の時に役立ち、安定供給につながると思います。
供給	・大規模集中型エネルギーは復旧に長時間を要するということが、今回の災害を経験してわかりました。LPガスはすぐに使えて便利であることが証明されました。各戸で備蓄ができることが、災害の時に役立ち、安定供給につながると思います。
価格	・料金を一律にする事は可能なのか？どうして出来ないのか？
価格	・ガス料金に差額があるのはどうしてか？
契約	・消費者とのトラブルをさける為にも理解できるよう説明してほしい。
災害対応	・特に災害時に強いエネルギーである。持ち運びの利便性。

災害対応	・備蓄はあるとのことですが、災害時に全国をカバー対応できるのか。
流通	・独居高齢者増加、ガスは危険だと言うことでオール電化の生活スタイルに変わりつつある昨今、電化に対抗、対処しているか。
広報	・一人の百歩より百人の一步で一人でも多く消費者拡大の為に更なる広報活動の必要性。
価格	・LPガス料金の安い事業者と契約したいと考えた場合、料金を比較検討する資料はあるか。
契約	・事業者を変更したいが、応じてもらえないという相談がある。
その他	・取引エリアに関する規則はあるか。
価格	・LPガス料金が、都市ガスや電気と比べて安いことをもっとアピールしてはいかがでしょうか。
契約	・配管設備に関することが分かりにくい。新築工事で施工した配管設備で、契約できるLPガス販売事業者が決まるのか。
契約	・事業者を変更したい場合は、設備も取り替えるのか。
広報	・消費者に必要な情報が提示されていないように感じる。
保安	・現在は都市部の集合住宅に入居しているため、都市ガスを利用している。LPガスをしばらく利用しないと、安全に使用できるか不安になる。レジャーや地域の行事などで、使用に慣れる環境があるといい。身近に感じると、メリットのある時に使用するようになると思う。
需要	・エネルギーの安定供給のために、リスク分散のためにも、電気、都市ガス、LPガス、太陽光や風力など、それぞれのエネルギー業界が競争・発展するのが望ましいと思う。
流通	・LPガスのメリット・デメリットを発信し、協力や支援が必要な事はきちんと要求し、安定供給を行ってほしい。
価格	・LPガス料金が自由設定と知らなかった。もっと告知してほしい。
価格	・ガソリンスタンドのように店頭に表示を出している訳でもない。どうやって比較すればいいのか。
価格	・LPガス料金の価格の計算方法がよく分からない。価格が不当に高く設定されないように監督する仕組みはあるのか。
価格	・都市ガス、電気、他のエネルギーと比べて価格が高いイメージがある。
価格	・価格設定についてオープンにし、分かりやすく説明してほしい。
価格	・値上げする時などは、その理由を説明してほしい。
契約	・契約に際して、自由価格、価格設定、設備の所有関係、変更による費用負担の説明がきちんとされていない。徹底されていない。
契約	・沖縄では、1度契約したら、そう簡単に販売店をかえたりしない(かえることができるということを知らない人が多いのか)。
その他	・業者の訪問勧誘もほとんどない。
流通	・健全な市場における競争を望みます。→料金(談合とか)について不透明になると思う。
流通	・健全な市場における競争を望みます。→カスタマーサービスの向上。
災害対応	・復旧のスピードの早さ。持ち運びができるので何処にでも設置できる。設備がコンパクト・シンプルな為、災害時に強い。

沖縄

災害対応	・一つのエネルギーに集中、頼ると、その「危うさ」が震災ではっきりわかってきた。
供給	・エネルギーの安定供給の為、LPガス備蓄は国レベルできちんと続けていくべきだと思う。
災害対応	・家庭や地域でも、エネルギーを分散利用することがリスクを分散することにつながるという意識を高める必要がある(オール電化がマスコミ等ですすめられている?・・・)。
価格	・現在1㎡1L当たり719円(税込み)になっている。平成25年10月より1㎡当たり22円の値上げがあったこともあるが、平成26年4月より消費税が8%になるとますます高くなる。賃金が全く上がっていないのに生活に必要なものは、どんどん上がりがっばなし。アベノミクスは嘘?!もっと安くしてよー!と思います。
価格	・一庶民は独自に代換えのエネルギーを持っていないのですから「〇〇年〇月から値上げします」と告げられても言いなりにするしかない。事業者のコスト削減の努力、企業努力を。――までやったけれど、これ以上はできないので〇〇値上げさせて下さい、という説明と努力が欲しい。
価格	・極力価格に反映させない努力をしたことを見える形で消費者に説明をして納得させてほしい。輸入価格の急騰により〇〇から〇〇値上げしますとの説明は選択の余地のない消費者にとっては呑まざるを得ないだけなので(他の出費の切り詰めの算段がいるのだ)つらいです。
流通	・富も権力も持ったが「勝ち」、発言力、行動力は、そこにしか与えられないという風潮が加速しているように思う。 ・気持ちを解り合う。弱者の視点も理解し、分かち合う、折り合うという努力はどちらの側にも必要と思うのだが、特に「勝ち」組みの方々をお願いしたいものです。
災害対応	・災害に強い(台風で停電とかがない)・個人の家族に対応できる・簡便性が高い・場所をとらない(ガスボンベがすぐおける)。ソーラーのように広い設置場所や風力のように調整やメンテナンスの費用がかからない。
需要	・昔ながらのカマドも使用したいが煙が条例に引っかかるそうです(木の枝や葉を燃料としてはダメだとのこと)。
環境	・原発はクリーンエネルギーではなかった!(CO2は削減できるが、大気汚染、土壌汚染、水、海水汚染)ので、もっと自然再生エネルギー、エネルギー供給の自国化、自前化に国税を使ってほしい。
環境	・太陽光、風力、波力、地熱、バガス等々、エネルギー源を海外輸入に求めるのは借金大国の日本にはもっと負担が増えるだけ。庶民もますます貧しくなるだけ、LPガスも自国化って出来るんでしょうか?

注)質問事項の分類及び内容は出来るだけ質問者の意向を反映させていますが、同一発言の中に

幾つかの内容がある場合はそれを1件として別に表示しています。

従って、質問数は質問内容の区分による件数を単純に集計したものです。

価格	・賃貸住宅の場合、ガス配管やガス器具等がガス料金に上乗せされ高額となるケースがある。その際、大家やガス販売業者から十分な説明がない場合もある。
価格	・最近、消費者から、ガス料金が毎月数万円に上がり、販売店に聞いても、説明がないとの苦情もあった。
価格	・北海道は道外に比べ高値安定が続いており、格差是正の兆しがみられない。過去、構造改善事業等取り組んできているが、業界団体が格差是正のアクションをとれないものか。
価格	・料金体系の不明瞭さ 二部料金制と三部料金制、使用しなかったときの基本料金の考え方(通常、使用がなくても基本料金はかかるが販売店によって0円のところもあった)。
価格	・契約書面の交付時に料金体系の説明が不十分なのではないか。
価格	・戸建住宅集合住宅の料金格差 設備や配管等によるところもあるかと思うが、同じ販売店だが戸建で使用していたときと集合住宅での使用で料金表が違っていた。
価格	・地域による料金格差 札幌でも個人経営の販売店が廃業しているが、地方では販売店が1店のみというところもよく聞く。今後、価格の寡占化が進むのではないか。
価格	・原料価格変動時に伴う価格反映制度導入の遅れ 大手の販売店では導入されているが、個人経営や中小販売店では原料価格の値上げ分を価格に反映できないところも多いのでは。消費者だけでなく、販売店にとっても適正価格で販売するためにも導入すべきではないか。
価格	・市内配達でもLPガスの価格差が大きく、高値安定となっております。
価格	・卸売価格が適正に反映されているのか疑問に思っております。
価格	・自分の払っている価格が、同地域、他地域に比べて高いのか安いかわからない(安ければ良いが、高ければ理由を知りたいと思う)。
価格	・値上げ時は、原料高なのでと説明するが、そのまま値下げしたことがない。
価格	・原料に石油ガス税がかかっているのと思うが、消費税もかかる。今後8%、10%、そして15%と上がる事が予想されている税に税をかける二重課税は業界全体で取り組み無くして欲しい。
価格	・現行と新しい価格決定の仕組みと決定までの流れを時系列でお知らせ下さい。
価格	・周知されていない価格差に関して、消費者にどのように発信してきたか。
価格	・料金を変更するにあたり、現行の仕組みの問題点と新しい仕組みの改善ポイントは？
価格	・価格が不透明でマスコミにも登場しない(比較として灯油・ガソリンなど)。
価格	・公共料金と同様に「原料価格変動等に伴う価格反映制度」の導入が望ましい。
価格	・次善の策としては、消費者に手渡す検針票等に輸入価格の推移等の情報を積極的に公開し、透明感を出す。
価格	・数か月おきの改定が難しい場合は、1年に1回程度見直し、一定幅以上値上げの場合は、ユーザーへの還元(物品でも良いのでは)も検討する。
価格	・手間のかかる業務と思われるが、原料価格変動時に伴う価格反映制度の導入を進めてほしい。

価格	・販売業者はとりわけ高齢単身者にLPガス料金価格の値上げ、値下げについて丁寧に説明してほしい。
価格	・値上げ時、値下げ時、料金改定時には丁寧に説明して欲しい。
価格	・1年に1回ほどが良いが、他地域の価格等を掲載したプロパンガスニュース等を配布して欲しい。ここに業界の悩みや良さを載せると消費者の理解につながると思う。また、配布することで事業者もより理解すると思う。
価格	・石油ガス税に消費税がかからないように業界全体で取り組んで欲しい。
価格	・値上げのお知らせが、今日入っていた販売店と入っていない販売店がある。
価格	・他社の料金設定や違いがわからない。
価格	・集合住宅での販売店変更は非常に難しいが、家主との契約時に入居者への料金体系説明を義務付けるようなシステムがあるとよいのでは。
価格	・県外からの転入者からガス使用料金が高いとの相談が非常に多い。今後ガス販売店で地域の実情を使用者に理解してもらう説明が必要ではないか。
価格	・北国と都会の生活環境の違い、販売店は消費者に解りやすく説明することが必要では。たとえばガスメーターの検針の時にでも声がけをすとか、パンフレットの配付等。
価格	・今の時期石油ストーブに頼っているのに特に感じた事。使用メーターは以前とさほど変わらないのに、近頃料金が倍近くになりました。輸入価格が上昇しているのは分かりますが～。 いくらかでも使用料をおさえる工夫はしているのですが、大変です。
価格	特にありませんが、少しでも使用料金が下がることを期待しています。
価格	・LPガス以外使用の経験がなく、料金についても特別の疑問を持たず過ぎて来ました。天然ガスより料金は高いのでは？と漠然と思っていました。この機会に、学習します。「ボンベのガスが切れると連絡する」というシステムでなくなり、大変便利に感じ、天然ガスと同じ気分で使用出来ることは有りがたく思います。
価格	・地域によってあるいは、販売業者によって使用料金がどうなっているか知りたい。
価格	・1-1に通じることであるが、地区の使用料金表のようなものがあればと考える。販売事業者(店)の料金を比べることが出来るから。
価格	・料金はどうなっているのか？
価格	・環境に良いと判ってはいるが、ちょっと高い。
価格	・LPガス料金は、毎月1回定期的に販売業者がメーターの検針を実施し、基本料金と使用料金を合算した検針通知書兼請求書が発行され、口座引落しでお支払いしておりますが、使用料金の単価が明記されていないので、単価をはっきり明記して頂きたいと思います。
価格	・料金については、現在1m3当たり640円ですが、1月検針より、主要産出国からの輸入価格の高騰により、1m3あたり40円の値上げになると文書でのお知らせがありました。せめて基本料金をもう少し、値下げして頂ければいいと考えます。

価格	・都市ガスとLPガスには料金の差がある。都市ガスは補助があるから安いのか、疑問に思いますが、LPガスは都市ガスの倍位の価格が不満だと思います。
価格	・公共料金は、基本的に「総括原価方式」で運用されていると認識しています。消費者の価格に対しての不満は「高い」と「不透明」と言う声が多く出されています。パンフレットなどには、LPガス料金の仕組みとして、基本料金＋設備利用等料金＋従量料金と解説されていますが、それぞれを構成する内容や、その一つ一つの単位設定の適性がわかりません。また、利益がどれくらい乗せられているかもわかりません。
価格	・都市ガスより料金が高いのはどうしてか？
価格	・LPガス料金が自由料金であること、販売店を自由に選べること等を知らないでいる人が多い。料金の仕組みを利用者に知らせること、認知度をあげるようつとめてほしい。
価格	・料金表がないので価格差の比較が出来ない。最近「この地域をまわっている」という電話での勧誘がありました。「日本LPガス協会」と名乗っていました。販売業者一覧表(県内、県北版でも)がありますか。
価格	・上記にあげた、単価設定や利益なども含めて、もう少し詳細な情報提供、説明がされるとよいと思います。
価格	・料金システムがもう少し明確だといと思います。
価格	・私の家では食べ物関係の仕事をしております。自宅、お店も全部ガスです。かなりの料金になります。少し料金を安くして頂けたらと思います(風呂、店も全部)です。
価格	・LPガスの料金は自由料金ですが、ガソリンや灯油などのように輸入価格がすぐに反映されず、2ヶ月ほど先になります。このことが価格の理解が進まず、また不満にもつながっていると思います。
価格	・石油情報センターから平均価格が2ヶ月に1度発表されています。全体的に、やや高値安定に思えるのですが・・・。
価格	・消費者の中で一番関心を持っているのが料金についてです。ガス料金はどうして他の商品のように一定ではないのか、と質問を受けます。
価格	・ガス料金の一定化が望まれるが、販売店の事情や地域格差の違いがあることはわかるが、その違いを消費者に納得できるよう対応することが大切です。例えば、LPガスは自由料金制であることなど。
価格	・料金の透明化をはかること。
価格	・お互いに消費者からの疑問や不満などがあった場合は、解りやすく信頼関係を保ちながら説明してあげるように。
価格	・LPガスは自由料金なので、同一事業者でも価格が違うことは当たり前なのですが、公共料金と誤っている消費者もあり、説明していただいた方がいいと考えます。
価格	・価格設定に透明性がなく、価格についての説明が全般的に不足していると思います。わかりやすい料金表を配布すべきだと思います。
価格	・大口需要家の単価は安くなるなどのルールをわかりやすく示して欲しいと思います。

価格	他のエネルギーと競争できる価格で提供していただきたいです。
価格	・業者によって料金にばらつきがあるようですが、ロコミで安いと言われている業者と契約している場合が多い。しかし、一度契約すると他の業者と比較することはあまりない。不満の声はあまり聞こえてこない。
価格	・以前から比べると、近所にあった販売店がなくなり小売店が吸収され、価格が安いかわからない面がある。
価格	・使用料金よりも基本料金の方が高く、疑問に感じている。 LPガスの基本料金は各社でどのように決められているのか。算出の根拠を教えてください。
価格	・B5版の資料、LPガスのある暮らし2013の5ページ下段に、「小売価格については料金の透明性を高めるために原料価格変動等に伴う価格反映制度を導入しているところもあります」と記載有。それはどこですか？導入の結果、消費者の反応はいかがでしょう？
価格	・平均価格より安く提供していながら、広報が下手な事業者が多いと思われます。もっとPRをすべきです。
価格	・販売店では消費者との信頼関係を保ちお互いに情報交換やネットワークを持ち、悪徳勧誘業者などが入りこまないような体制をとり、消費者が安心してガスの使用が出来るよう務めることが大切である。例えば、チラシの配布、ガスの内容についての説明会、料理教室を開くなど話し合いの場の設定。
価格	・価格の透明性を確保し、消費者にきちんと価格について説明できるようにして欲しいと思います。
価格	・できるだけ安く提供できるよう努力して欲しい。
価格	・原料価格が下がったら速やかに反映してください。
価格	・新築住宅の時に、消費設備、供給設備の料金の負担をどうするかについて消費者と協議して説明した上で決めて欲しいと思います。LPガス料金に上乗せしているかどうか、消費者がわかるように明確にしてください。
価格	・他業者より安く提供するなら、価格を書いたチラシを入れたり、ホームページで価格を宣伝してはいかがでしょう。どのようなサービスがあるのか料金メニューも広くお知らせして競争して欲しいと思います。
価格	・LPガスを使用していて何の不便も感じませんが、価格は大分都市ガスの方が安いと聞きますので、せめて価格は都市ガス並になればいいのには思います。(LPガスと都市ガスの供給形態が違うのでなかなか難しいでしょうが。)
価格	・LPガスの夏料金と冬料金の差はありますか？
価格	・なぜLPガスが見直しされないのか？ 料金の不透明さがあるようです。 同じアパートにおいても同じガス屋さんでありながら、お隣同士の料金が違う。
価格	・まして台所にIHがあれば、一番高い単価に設定されてしまう。また、熱源はLPガスだけのアパートの住人ならばお値打ちにされる。と差があるようです。 人を見て判断されるようです。

価格	・この点については若い人からの声で、LPガスの価格に差があり、水道、電気のように全家庭一律でないことから、疑問が出るようです。
価格	・都市ガスの施設のない地域なので、LPガスで満足しています。都市ガスは安い、と聞けば関心もあります。
価格	・ガス料金の請求書には使用量と金額が記載してありますが、明細の記載がないので、きっちりして欲しいと思います。
価格	・料金の値上げ、値下げについての通知をして欲しいと思います。
価格	・価格の統一がされないのでしょうか。価格の設定方法が不透明である。値上げ前に事前説明をするべき。
価格	・業者ごとに色々な情報の提案等特長があれば、より、特に料金制度、基本料金、従量料金について等々の説明や個々をアピールする。
価格	・LPガス料金は、都市ガスに比べ一般的には高いと言われていますが、具体的にどれほどの差があるのでしょうか。
価格	・最近、近所の家で都市ガスやLPガスをオール電化に替えていっており、ガスから電気への切り替えが多くなるのではないかと思います。そうなれば、LPガス料金は、今より上っていくのではないのでしょうか。
価格	・料金に関する不満が多い。
価格	・50キロポンペを購入しているのに請求書は立方でくるのでわからない。
価格	・突然、値上げを請求書に同封してきて、その理由が「今まで上げなかったのだから」というのでは納得できない。世界の動向、日本のLP業界の実情、そしてその個人店舗が、どのような努力をしてきたかをその家にきて説明して欲しい。
価格	・消費税の値上げを前に困る。
価格	・口座引落しなので、引落とされてから値上げを知った人も多かった。
価格	・県外で都市ガスを使用していたので、料金が高く感じる。都市ガスとの違いについて詳しい説明が欲しい。
価格	・料金は各会社の自由設定になっているようだが、同じ条件で元売から購入しているのだから内緒にしないで、業界他店の状況も説明してほしい。
価格	・県外から来た人に料金に対する疑問が多いので、なぜこの料金なのかを説明してほしい。
価格	・値を上げる時は通知が来るけれども、どうしてこの料金なのか具体的に説明してほしい。又、値が下がった時は(新聞で情報を知る)は、下げるという通知が来ないのは何故か。
価格	・経営店(事業所)によって、価格が違う事は疑問。
価格	・料金設定の基準は、全国一律に出来ないのか？

価格	・個々に違うのも利用者にとっては納得いかないのでは？と思う。
価格	・情報（公表）等が少ない。
価格	・料金の徴収（引落とし）改訂説明も全て手紙では少しサービス不足では？と思う。
価格	・生活に必要なエネルギーの価格は、景気に大きく左右されることなく、低所得者層の家庭でも安心して使える価格設定であって欲しいです。
価格	・経済的にもエネルギー、LPガス料金が安定していることが望ましい。 世界の状況において、決して安心した安定価格であることが、今後望むことができないのではないかと。今後、安定価格のために、国の施策としてどんなことが進められているのか。
価格	・私が住んでいる丹波市は都市ガスがないのと、だいたいの家庭では太陽光を多く取り入れ、オール電化の家が多くLPガスと比べて使用料は安くなっている。LPガス料金は本当に高い料金。人件費とかでしようか？
価格	・戸別配送のコストなどを考えると販売店における多少の価格差は必要なのかなとも思いますが、バルク供給が普及すれば、価格差も少しは解消されるのでしょうか。
価格	・料金制度の仕組（基本料金・設備利用等料金・従量料金）について、知らない消費者が多い。
価格	・料金表は、ほとんどの家庭ではもらっていないので、LPガスの料金だけが目につくのではないだろうか。
価格	・料金に関する相談が多いので、LPガス料金は自由設定である旨と、それぞれの販売店の料金表に基づいて、料金の仕組を、その販売店の誰でもが消費者に説明できるように教育しておくことが大事であると思う。
価格	・LPガス料金は、円安などによる価格変動は、ガソリン価格ほど消費者が日常身近に分かり易く目にすることができません。料金設定が配布される請求明細表に印刷された表示内容では分かりにくい。
価格	・長年信頼関係でつながっている販売事業者と顧客、料金等請求明細書が月1回郵送で届きます。ボンベ配置、検針、請求、引落としと便利ではあるが、値上げの際（価格改定）には消費者が納得のいく方法はとれませんか。
価格	・基本料金はどんなにして決めているのか。
価格	・料金は非常に安くて助かっていると全員が申されましたが、都市ガスの方がまだ料金が安いとの事、本当でしょうか。
価格	・二部料金制と三部料金制についても少し詳しく教えてほしい。
価格	・使用量もいくら使っても料金がさほど高くない。
価格	・ガス料金については、常に疑問を感じています。 搬入業者によって、単価が違うこと。利用者にとって、この情報は、不可解だと思いながら日々暮らしの中で必要不可欠なエネルギーなので、疑問を感じながらも行動は起こせなく、単価の高さに、家計面で頭を悩ませているのが現状です。

価格	・ガス料金の単価の値上げ等、案内は頂いていますが、数ヶ月の間に数度の値上げには辛い現状です。 その提案について、他の情報を持たない利用者にとっては、反論出来ず、受け入れるしかないのが現状です。納得出来る説明が欲しいです。
価格	・LPガス料金については居住地により地域間の格差がありますが、仕方がないと考えます。
価格	・消費者と契約の際、明確な説明を頂きたい(料金等に対して)。
価格	・液化ガスの輸入価格の変動による販売価格への転化はどの位の幅があるのでしょうか。
価格	・ガス料金について、最初の説明があったかもわからないが、その後一度も説明を受けていない。(約30年)
価格	・この度「LPガス料金改定のお願ひ」の文書が配られたが、利用者としては業者を変えることもできず、一方的に認めたとということになる。
価格	・各県で行われている価格調査では、最低と最高と平均が出ているが自由料金の理解が利用者にはできていない。不満がある様である。自分のところがすごく高いとの声をよく聞く。
価格	・価格の安定価、公正価を希望します。
価格	・LPガスの価格統一できないか。
価格	・所により又、各家庭で料金の違いがあるが統一できないか。
価格	・都市ガスとの違いは？
価格	・料金の公明か、インターネット、新聞で料金を明細にだしてほしい。
価格	・同じ会社でも家庭で違いがあるのはどうしてか。
価格	・都市ガスより料金が低い。公共料金とは違うといわれるが、消費者にとってはいったん契約すれば気軽にすることもできない。消費者が納得できる料金設定が望まれる。
価格	・あまりにも差があるとその評判がLPガス全体のイメージを悪くする。
価格	・消費者が納得できる料金設定が望まれる。
価格	・他のエネルギー(電気、都市ガス)に対して、LPガスの価格は高いのか、どうなのか。 例えば、水1ℓを沸かすエネルギー価格の比較など、わかりやすい数字があるのだろうか。
価格	・原油価格に対して、販売価格がどう変化するのかなど、消費者にわかりやすい説明文などを作ってほしい。
価格	・事業所によって料金が違うことについて、選択するために料金を調べようと思ってもわかりにくい。それぞれの事業所から資料を取り寄せるのか。協会に一覧表でもあるのでしょうか。

価格	・各事業所の料金の違いはどこから出るのか。料金の差について自由に決められるのか知りたい。
価格	・都市ガスに比べて高いと聞きますが、比べられることはない。 安全で安心して使えるのであれば、不満はありません。
価格	・安全で安定した供給をしていただければ、料金は常識的なものでいいと思います。
価格	・参考資料としての消費者実態調査結果に表れているように、価格に関して最も関心が高く選択を左右する。以前から意見が出されているように価格体系についての説明不足だけでなく、透明性に欠けることが大きな要因と思われる。電気と比較したり、基本料金に対する説明不足による理解への周知度をもっと認識してほしい。 業界をあげての取り組みの姿が一般市民へ浸透していない。直接対応する販売店との関係がスムーズにいかないことが、信頼感を損ね、価格の安い販売店と比較したり電気への変更につながっていく。
価格	・原油高による高騰が価格値上げにつながることは理解できるが、事前事後の説明、特に文書による連絡がされていない。大半が料金は口座引き落としなので、非常に一方的な値上げとなっている。もっと周知方法について検討、努力をしてほしい。気軽に話し合える関係を平素より行ってほしい。留守が多いことと、メーター検針、その他直接接する機会がないだけに連絡文書(簡単な読みやすい工夫をしたもの)などを届けたりすれば、信頼、期待感も生れてくる。ガス器具についての相談等にも応じる雰囲気を作ったりするのも効果があるのではと思う。
価格	・安全性と価格。高齢世帯が多くなり利便性第一の考えから使い勝手のよいこと。炊飯器一つとっても炊き上がりのうまさを比較してもガスが優先している。もっと宣伝の必要性がある。ガスのつけっ放しによる事故防止のため安全機能付きの器具も次々と販売されているが、果たして高齢者にどの程度紹介されているか、電気業界に比較して不足していると思われる。 節電対策が叫ばれ、家庭内での燃料機器に対して検討することが急がれていると思う。
価格	・自由料金であることは知っていたが、情報量が少なくあまりよくわからないので、現状のところをお願いしている世帯が多いのではないかと思います。 (PRなどはされていますか?)
価格	・自由料金制のことは文書ではいただいていると思うが、詳しく教えていただけたら尚有難いです。
価格	・引越し先でのLPガス取扱店のガス料金がわからないまま、高い店と契約してしまうことがあり得る。ガス料金が取扱店によって違うというのはどうしてでしょうか。業者を選ぶ基準などというのはないのでしょうか。
価格	・ガス料金表が毎月来ますが、料金の算定方法などがよくわからない。
価格	・料金を一律にする事は可能なのか? どうして出来ないのか?
価格	・ガス料金に差額があるのはどうしてか?
価格	・LPガス料金の安い事業者と契約したいと考えた場合、料金を比較検討する資料はあるか。
価格	・LPガス料金が、都市ガスや電気に比べて安いことをもっとアピールしてはいかがでしょうか。
価格	・LPガス料金が自由設定と知らなかった。もっと告知してほしい。

価格	・ガソリンスタンドのように店頭に表示を出している訳でもない。どうやって比較すればいいのか。
価格	・LPガス料金の価格の計算方法がよく分からない。価格が不当に高く設定されないように監督する仕組みはあるのか。
価格	・都市ガス、電気、他のエネルギーに比べて価格が高いイメージがある。
価格	・価格設定についてオープンにし、分かりやすく説明してほしい。
価格	・値上げする時などは、その理由を説明してほしい。
価格	・現在1㎡1L当たり719円(税込み)になっている。平成25年10月より1㎡当たり22円の値上げがあったこともあるが、平成26年4月より消費税が8%になるとますます高くなる。賃金が全く上がっていないのに生活に必要なものは、どんどん上がりっぱなし。アベノミクスは嘘?! もっと安くしてよー! と思います。
価格	・一庶民は独自に代換えのエネルギーを持っていないのですから「〇〇年〇月から値上げします」と告げられても言いなりになるしかない。事業者のコスト削減の努力、企業努力を。――までやったけれど、これ以上はできないので〇〇値上げさせて下さい、という説明と努力が欲しい。
価格	・極力価格に反映させない努力をしたことを見える形で消費者に説明をして納得させてほしい。輸入価格の急騰により〇〇から〇〇値上げしますとの説明は選択の余地のない消費者にとっては呑まざるを得ないだけなので(他の出費の切り詰めの算段がいるのだ)つらいです。
保安	・ガスの性質上、保安や取扱いについて不安が生じるので、何かあった場合、親切、丁寧な対応が不可欠。
保安	・エネルギー供給についてメリット、デメリットがあります。 東日本大震災の津波についてはLPガスの事故は少なかった(なかった)かもしれません。関東大震災、阪神大震災を上回る大規模災害時LPガス(破損したガスボンベ)の安全性はどうなのでしょう。災害時の安定供給をするため、想定外の災害に対応できるLPガス災害実験施設を建設してみたいかがでしょうか。
保安	・2011年の津波(地震)で、ガスの元栓を閉めないで逃げていました。気がついてみたら(2日後)しっかりロックされていました。 [震災時の係の対応が適格でした。]感謝です。
保安	・ガス警報器の耐用年数はあるのか?
保安	・定期的(1ヶ月1回)に補充、検針も実施され、また、ガス器具の1年1回の点検、ガスもれ警報器の設置をしておりますので、問題ありません。
保安	・短時間で異常点検が行えること。迅速な復旧が可能であること。信頼できる販売店が身近にあること。
保安	・安心・安全な事

保 安	・毎年LPガス協会やセンターの職員が販売店から委託されたとの事で点検調査に来てくれますが、色々と点検しアドバイスなどいただきとても安心してしています。良い制度だと思います。
保 安	・安心がもてる。これが一番だと思います。何事も安全安心が第一。
保 安	・業者変更時ですがメーターが業者によって違うのでメーターの取り替えがありますが、統一されないものでしょうか。
保 安	・年間2回位は利用状況や点検等、販売店がする事ではないでしょうか？
保 安	・故障、点検についてなるべく早く対応してほしいと思っています。
保 安	・LPガスは都市ガスと比べて安全性が高いと思います。 災害が起きた場合は、すぐ対応できるし大きな事故につながらないからです。
保 安	・ LPガスが一番安全
保 安	・ 停電になっても心配がない。
保 安	・ LPガスは昔と違って非常に安全である。
保 安	・定期的補充を前提にしているので、連絡先が解りにくい。もし事故等の時にどこへ連絡するなどの対応は必要かと。
保 安	・一人暮らしの高齢者からの相談ですが、最近転居して来た者です。LPガスの取扱いが心細いのでオール電化にしました。が、小型のLPガスの容器がずっと前から残っているのですが、始末の方法がわかりません。どうしたらよいのですか。
保 安	・カセットコンロ用のガスのスペアは保存しているが、LPガス(小さいもの)が災害時の備えのために家庭に備蓄することは可能か。そのための安全面での規制があるのか。
保 安	・以前のように保安点検が毎年行われないので、関係が薄くなる。機器の安全性も高くなり事故も起こらない現状ではあるが、あくまで義務としての保安点検はしっかり完璧に行い、その際業界の取り組みをしっかり伝えること。この点検表も目につくところに保管すれば、相手方にとって安心感がもてる。場合によっては機器の取り換えを助言することも必要だし、時期をみて確認のための助言が信頼感を生むことにつながる場合もある。
保 安	・安全性と価格。高齢世帯が多くなり利便性第一の考えから使い勝手のよいこと。炊飯器一つとっても炊き上がりのうまさを比較してもガスが優先している。もっと宣伝の必要性がある。ガスのつけっ放しによる事故防止のため安全機能付きの器具も次々と販売されているが、果たして高齢者にどの程度紹介されているか、電気業界に比較して不足していると思われる。 節電対策が叫ばれ、家庭内での燃料機器に対して検討することが急がれていると思う。
保 安	・危険がおよぼすとすぐ察知して切れること。爆発しない限り安心です。
保 安	・現在は都市部の集合住宅に入居しているため、都市ガスを利用している。LPガスをしばらく利用しないと、安全に使用できるか不安になる。レジャーや地域の行事などで、使用に慣れる環境があるといい。身近に感じると、メリットのある時に使用するようになると思う。

契約	・自由取引なのだが、ポンベの使用等あり、業者を変えるのはまず「めんどう」でなかなか変更しにくい。
契約	・一度契約したらそのままではなく、何年かおきに契約を更新するようなシステムをつくり、契約の再認識やその時代に合った契約内容への変更があってもよいのでは。
契約	・販売業者は引っ越し等契約解約時の撤去費用についてトラブルがないよう、業界の「モデル契約書」に基づくきちとした書式で契約書を作ってほしい。
契約	・契約書面等は、1年に1度取り交わすようにしてほしい(初めて配布されても、年数がたつと忘れてしまうので)。
契約	・契約がどうなっているのか、わからない。(わかりにくい。)
契約	・LPガスの契約、取引について自由に選べることは周知していましたが、ジェイエイの組合員でもありますので、職員の方の推進により、継続して取引しております。 今後変更する考えはありません。 (近くて、便利、職員の対応もよいです。)
契約	・販売店さんとのコミュニケーションがうまくいっていますので安心してお願いしています。
契約	・契約及び取引の条件としては地域に密着しているか、これを考えています。安くて近くに拠点がないと不安。
契約	・解約時や販売店変更時などに、配管や器具などの設置されている設備についての扱いのトラブルが多くあるように受け止めています。契約時の第14条書面や契約書などが交付されると思いますが、消費者にとっては充分理解するまで読み込みことは大変なことと思います。
契約	・先方の決められた通りですので、あまり疑問にも思わず契約いたしました。
契約	・昔からの取引で契約についてはっきりしない世帯がある様です。確認する意味でも契約書を作成して互いの信頼関係を確実なものにして将来につなげていってほしいと思います(書面は家族がわかる所に保管していただく)。
契約	・消費者に理解出来る契約・取引の安心さを提案してほしい。価格が自由に決められるシステムで1ヶ月半分位の値段という家庭もあります。
契約	・契約内容について、素人の消費者に分かりやすい丁寧な説明を希望します。
契約	・液石法の義務14条、書面の交付の徹底を望みます。 特に料金表、料金変更の際は事前に新たな料金表を交付するか、毎月の検針票などでもOKのようですが、毎月の検針票では消費者の気づきが遅くなったり、わからなかったりがあると思います。「値上りになります」と新たな料金表を配るのが一番良いと思います。

契約	・B5版 LPガスのある暮らしのP5 小売価格を改定する場合の手続、A4版 LPガスガイドのP17 下段②小売価格を改定する場合の手続に消費者と販売店が新しい料金について合意することが必要です。(販売店に受け取った書面の料金改定に合意しないことを伝えずに改定後の料金を支払うと、料金改定を認めたこととなります。)合意したかは、どこでどのように確認しているのでしょうか？大事なことです。合意しなかったら値上げはされずに済むのですね。
契約	・商品の取引には必ず契約の書面を取り交わすことが定められている。契約書を見ると書面の明記がはっきりせず、内容を読み取り理解するのが困難である。(字などが細かい。)
契約	・消費者は書面等の内容の確認はしっかりし、不明な点がある場合は説明してもらうことが大切である。
契約	・地元のガス販売店からガスの敷設をしていただいた時、契約書を取り交わし、不明な所などをきっちり説明していただきました。販売店とは長期にわたり信頼関係で取り引きしています。
契約	・新規契約の時に、LPガスの供給設備、消費設備の負担について契約書面をもとに消費者が理解できるように説明してください。開栓時に慌ただしく契約させてしまうと後で問題になることがあります。業界の商習慣が消費者不在で行われることが問題だと思います。
契約	・LPガス販売事業者ではなくいわゆる勧誘専門の事業者が消費者宅を訪問販売で訪ねていますが、その時のセールストークに、嘘があるという苦情が多く聞かれます。ずっと最初の安い価格で提供しますなどのような、約束しかねることを言っています。どうしてそのようなことが約束できるのでしょうか。
契約	・配管代の支払い、設備貸与契約などは消費者も忘れがち。減価償却あと何年あるなど年に1度はガス販売店と消費者で確認しあうこともして欲しい。
契約	・ブローカーを使った他販売店からの訪問販売について、大変悪質です。価格の安さを売りにしながら、契約後たびたび値が上がる。やっとおかしいと気がつく消費者が多い。ブローカーを使って勧誘している事業者は反省すべきです。また、お客様から他の販売店に代わりたと言われた事業者は、これまでのお客様とのコミュニケーション不足、料金に関する説明不足、保安の確保に関する説明不足を見直すべきです。トピックス(実態調査)6の他販売店からの訪問勧誘頻度下段のコメント、全体としては約8割は全く訪問がないとの回答には疑問。(共働き含むですか?)
契約	・消費生活センターへの相談は、切り替え事業者が訪問して価格が安くなるといわれたが信用できるのだろうか、断ってもしつこく訪問されて迷惑だ等の内容が多くあります。頻繁に勧誘されるのが煩わしいのでオール電化に変えたいという消費者の声も聞きます。他エネルギーとの競争をする前にLPガスのイメージを低下させるような顧客の奪い合いはやめたほうがいいのではないのでしょうか。
契約	・ボンベが屋外に設置されていることから、道路に面してガスボンベが置かれていると不安に思う事がある。契約時に設置場所もしっかり確認し安全を絶対忘れないでほしい。
契約	・保証金をとる会社(事業者)があると聞きます。何の為の保証金なのか。
契約	・今後、特に高齢者の方が多くなりますので、納得するようにわかりやすく丁寧な説明が必要になってくると思いますので、少々手間がかかるかもしれませんが是非お願いしたいと思います。
契約	・20年前はガストーブを使用していたので新築の際に販売店にガス管を埋設して頂きましたが、工事費支払いの覚えがなく現在に至りました。LPガスガイドによると消費者側が支払うべきだと気がつきました。
契約	・40年前からLPガスを使用していますが、書面を見た記憶がありません。重要なことなので、保管しやすい形にして、交付して頂きたいです。

契約	・契約時の書類の多さにびっくりです。永く持っていないと書類とそうでない書類があると思いません。もう少し簡単にならないものか。
契約	・マンション等で家主がその店と契約している以上変更出来ないが、納得して使用したいので変えさせて欲しい。又その折、取りはずし等いろいろな料金が課せられるようだがやめてほしい。
契約	・事故があった場合に備え3000万の保証保険にかかっていると業者が言うが、それは業者に保証ではないのか。
契約	・全てが委託では利用者全体が減っていく。 (オール電化、都市ガスと扱いが一緒と思われても仕方がないのでは?)
契約	・くらしの様々な場面で契約が行なわれていますが、その契約規模の大小を問わず、契約の内容を正しく理解し、契約書や定款を十分に読み解くことをしないor苦手な消費者が多いように思います。事業者側も消費者をだますスキルの高いセールストークをやっている悪徳者がいる一方で、良心的な業者主さんであっても、説明能力が不足しているorそういうものを磨く機会が少なかった方もおられるかと思えます。 消費者側も、消費者団体が率先して、契約行為をきちんと行なえる消費者育成につとめますので、ぜひ事業者側でも、商品説明・契約手続きの能力向上に向けて教育活動を徹底して頂きたいと思えます。
契約	・解約して他の業者にかわりたいが、なかなか言えず不満がある時がある。言葉のやりとりで不満がある。
契約	・戸建ての借家などに入居している消費者は、14条書面をもらっていないし、ほとんどLPガスについて(配管などの設備のことなど)は知らないと思う。だから料金が高いから他の販売店に替えたいなどのトラブルが発生するのではないだろうか。
契約	・戸建ての借家やマンションなどに入居する消費者に家主と共に販売業者も行き、LPガスの契約に関する書面と販売店の料金表を渡し、丁寧に説明することも一つの方法だと思う。
契約	・長年の取引なので、こんなものだと何も思わない人が多いのではないか。何年かごとに契約の内容や取引の説明があってもよい。
契約	・一般消費者は内容がわからないから、業者の言いなりになっている。
契約	・事業者ごとの自由価格ではあるが、一旦契約すれば、車のガソリンのように給油所を選べないということを消費者目線で考えてもらいたい。
契約	・一旦契約すると変更が難しいことや費用負担など、契約時にきちんとわかりやすい書面で提示し納得してからの契約をしてもらいたい。
契約	・関東地方では契約トラブルが多いと聞いているが、九州地方はどのようなトラブルがあるのか。また、悪質な業者はどんな手法を使うのか。
契約	・オール電化にした時の室内の配管設備の撤退料が必要と要求され、トラブルになった例を聞いた。契約時に必要な書面は、「取っておいてください」などの注意書きが必要だと思う。捨ててしまい、「知らない」と言っている消費者が多い。
契約	・たとえ料金の安い事業所に変更したいと思っても、配管施設等の問題で金銭的にも簡単にいかないと思う。

契約	<ul style="list-style-type: none"> ・販売店と契約を交わすことは、相手方にとって最も基本的な取引の開始となる。余程のことがない限り販売店の変更をしない。苦情の出る内容は契約書をとくと理解すればトラブルは余り起こらないと思う。長期にわたる場合、契約書の取り替えもなくどこに置いているか分からない人が多い。再発行するなりコピーでもして契約書を渡し、保存の必要性をしっかりと伝えるべきである。特に集合住宅ではなかなか是正されないことが多く、不満が大きくなる。
契約	<ul style="list-style-type: none"> ・資料によると、契約時、販売店から料金の内訳・契約期間・中途解約条件等の説明を6割以上の方が覚えていないという回答でしたが、販売店ではどの程度の説明をされているのかを教えてください。（説明をされていても、消費者の方がよく覚えていないのでしょうか？）
契約	<ul style="list-style-type: none"> ・契約に関する苦情はどの位ありますか？ 又どのような内容が、どのように処理、対応をされているのかお聞かせいただければ仕事柄とても参考になりますので。
契約	<ul style="list-style-type: none"> ・契約や取引についてのトラブルを避けるためにも、契約時の説明をわかりやすく丁寧に（今以上に）心がけていただくようお願いしたいと思います。
契約	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱い業者を替えたいと思う時、スムーズに変えられるような方法を考えていただきたいです。
契約	<ul style="list-style-type: none"> ・近くガス屋さん和新しく契約する場合、複数の取扱店と比較することができればと思います。
契約	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者とのトラブルをさける為にも理解できるよう説明してほしい。
契約	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者を変更したいが、応じてもらえないという相談がある。
契約	<ul style="list-style-type: none"> ・配管設備に関することが分かりにくい。新築工事で施工した配管設備で、契約できるLPガス販売事業者が決まるのか。
契約	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者を変更したい場合は、設備も取り替えるのか。
契約	<ul style="list-style-type: none"> ・契約に際して、自由価格、価格設定、設備の所有関係、変更による費用負担の説明がきちんとされていない。徹底されていない。
契約	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄では、1度契約したら、そう簡単に販売店をかえたりしない（かえることができるということを知らない人が多いのか）。
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で環境に良い。
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・原発はクリーンエネルギーではなかった！（CO2は削減できるが、大気汚染、土壌汚染、水、海水汚染）ので、もっと自然再生エネルギー、エネルギー供給の自国化、自前化に国税を使ってほしい。
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光、風力、波力、地熱、バガス等々、エネルギー源を海外輸入に求めるのは借金大国の日本にはもっと負担が増えるだけ。庶民もますます貧しくなるだけ、LPガスも自国化って出来るんでしょうか？
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・利便性、経済性、安全性を考慮すると、北海道の地域性から戸建住宅の暖房は灯油（2011年の札幌市での新築分譲マンションは83.4%が天然ガス使用だが）が主流で、照明・動力は電気が主流と思われる。LPガスが選ばれるには台所の煮炊きや給湯の分野でその特徴をアピールするのがよいのでは。

広報	・今、家庭で使う多くの機器は電気がスイッチになっている。但し、炊飯器やコンロは、電気がなくても使える。このことをもっと宣伝しても良いのではないか。
広報	・炊飯器は電気に比べておいしく、時間も短い。日常的に使用していることも重要と思う。エネルギーの分散をもっと啓発した方が良いと思う。
広報	・電気の節電意識は、高まっていると思うが、例えば炊飯器だけでも替えようとの動きは、あまり聞いたことがない。プロパンガスの良さをもっとテレビ等で広告しても良いのではないか(消費者は、そのことに気がついていないのではないだろうか)。
広報	・プロパンガス=爆発のイメージがあるので、安全についても広報して欲しい。
広報	・業界通信(新聞)のようなものがあると良い。
広報	・トピックスなどの情報。
広報	・パンフレットのようなものでもよい。
広報	・その他について LPG車に遭遇しました。車のナンバーの上に高圧ガスのプレートが取り付けられていました。うまいPRだと嬉しくなりました。
広報	・備蓄義務や軒先容器の在庫等、私たち消費者はまったく知らないことです。もっとアピールをしてLPガスのことについて、災害の時はどうなのか等々世間に流すべき。
広報	・LPガスの良さの啓発が足りないのではないのでしょうか。
広報	・住宅建築業者にLPガスも選択の1つとして提案してもらうようにする。
広報	・市のガス展では、古いガス器具もメンテナンスしたり、器具購入の際にも割引があったりするが、プロパンガスではない。どうしてか？
広報	・個人店舗のプロパンガス展でなく、プロパンガス店全店で、市のガス展のような催しをなぜしないのか？
広報	・災害には強みがある事をもっとPRをする事が大切だと思う。
広報	・ガス器具も進化して危険度が少ない(安全性)という情報を販売店等が個々に運動することが必要。
広報	・事故が最近少なくなったが、やはり使用方法を十分に知らせる事が必要。
広報	・原子力に頼る事が出来なくなってきた日本、これからLPガスの重要性が必要になってきたと思います。オール電化より都市ガスよりすぐれている所をもっと教えてほしい。そして、出来れば価格を安く魅力あるLPガスで住民にアピールしてほしいと思っています。 今年2月3日に丹波市消費者協議会にLPガスさんに講演を依頼しております。300人の会員中(50人程度～)予定をしています。まだまだLPガスを家庭で使用している消費者ですが、良い所、又注意する事、利用度等を説明して頂ければうれしいと思います。遠方ですが期待しておりますので宜しくお願いします。
広報	LPガスの利点 ・容器で運べることや、揺れ防止が取り付けられている。

広報	・各県で行われているお客様懇談会の消費者委員他の立場の人が長年同じ人がつとめているが理解が広がらない。会議をしたことで終わっている。LPガス業界のためにも広く周知の方法を考えるべき。
広報	・優先すべき情報を消費者にどんどん伝えるべきと考えます。東日本大震災より消費者は、エネルギーの将来の姿を考え直そうとしている時です。
広報	・復旧が簡単で速いのだというPR。 また、卓上コンロも非常用として用意するPR。
広報	・安全性と価格。高齢世帯が多くなり利便性第一の考えから使い勝手のよいこと。炊飯器一つとっても炊き上がりのうまさを比較してもガスが優先している。もっと宣伝の必要性がある。ガスのつけっ放しによる事故防止のため安全機能付きの器具も次々と販売されているが、果たして高齢者にどの程度紹介されているか、電気業界に比較して不足していると思われる。 節電対策が叫ばれ、家庭内での燃料機器に対して検討することが急がれていると思う。
広報	・LPガス利用の世帯に、役立つ情報などを定期的に配布したり、PR活動や地域での交流会を催すなど日頃から(いざという時にも)気軽に相談できるような利用者の立場に立った取り組みを通し、信頼関係を一層築いていただきたい。 (例:ガスを使った料理教室、新商品の紹介、ガスフェアなど、既にされていることとは思いますが・・・)
広報	・一人の百歩より百人の一步で一人でも多く消費者拡大の為に更なる広報活動の必要性。
広報	・消費者に必要な情報が提示されていないように感じる。
災害対応	・大手会社が残り、小売店が閉店し30年来の人間関係もなくなり、地域でのつながりもうすれています。大手に淘汰されてしまうと、地方地域は災害があった場合に不安がある。
災害対応	・消費者個人がミックスするのはむずかしい。自治体指定の災害避難施設は災害用として必要なと思っております。
災害対応	・想定外の災害は今後も発生します。想定外の災害にLPガス販売事業者が対応できるのか疑問であり、業界全体として研修など取り組んでいただきたい。
災害対応	・災害に備えては、5kgのボンベとコンロの備えの啓発があっても良いのではないかと。
災害対応	・北海道においては、災害として、停電も数多く経験しています。その中で、ガスをミックスしておくことで電気がなくても、調理(食事)ができる事が大きいと思います。
災害対応	・分散型個別供給の強みを生かしていくとともに、災害対応ガスバルク供給システムの普及を要望。現在、札幌市には何箇所の災害対応ガスバルク供給システムが設置されているのでしょうか。
災害対応	・流通網の整備(Aの道路・港がだめなら、Bの道路・港)
災害対応	・業者間の連携(プロパンガス業者)
災害対応	・東日本大震災においてLPガスを燃料としたタクシーが活躍したこと。被災者の煮炊きに活用されたこと。

災害対応	・東日本大震災を体験した一人として、LPガスの必要性を再確認しました。 電気や電話も通じない中で、LPガスでお湯をわかし、ペットボトル等に入れ暖をとることが出来た。
災害対応	・ガスを利用し、ごはんを作ったり、食事全般の準備が出来、唯一の救いであった。
災害対応	・停電や地震になっても各家庭毎に対応出来るから。(個々にLPガス使用可である。)
災害対応	・移動して(炊き出しやいも煮など)使用(利用)出来る。
災害対応	・「いざ」という時に誰にも頼らず(人を待たず)エネルギーをまかなえる事は、本来重要な事と思います。 LPガスは各家庭毎にあるため業者のサービス負担が大きいと思うが、今後まちづくり(視点)など大きな視野で一度検討してみる事も必要なのではないでしょうか。
災害対応	・目にみえるところに、ガスボンベがあるから。
災害対応	・東日本大震災の折、秋田県は停電が数日ありましたが、LPガスがあり、大変助かりました。
災害対応	・水道も無事でしたので、お湯が沸かせた。
災害対応	・資料の「災害用バルクシステム」は知りませんでした。
災害対応	・各家庭にボンベが設置されており、移動も可能なことだと思います。ガス器具等も安全装置付のものもあり、震災時には安心です。
災害対応	東日本大震災のときには、停電、断水が10日以上も続き、本当に苦労いたしました。 その時に、LPガスがあったために、家族の毎日の食事を作ることができ、本当に助かりました。 (電気釜での炊飯はできず、給水所からの水で鍋でごはんを炊いて、食べることができた時の美味しさは忘れられません。)
災害対応	・災害時に避難所などになる公共施設等へのLPガス設備の設置を充実させていくことが必要と思います。
災害対応	・災害がおきた時にライフラインが途絶え復旧するのに期間がかかるがLPガスの場合、即使用することができ、復旧が早いので、他エネルギーに加え必ず常備使用されているのだと思う。大震災時、LPガスの活躍は立証済である。
災害対応	・3.11の大震災時には軒下であり、販売店にすぐ安全点検していただき近所の皆様に温かい食事をおすそ分けすることが出来ました。 また、公民館等に素早く届けていただき、避難されている方に温かいみそ汁とおにぎりを提供し、とても喜ばれました。
災害対応	・各市町村に災害対応LPガスバルクの設置場所を決めておき、市民に知らせておくことが大切であり、必要だと思っています。
災害対応	・電気に代表されるように、電力9社の独占のもとに大量生産大量消費の傾向がありましたが、東日本大震災と福島原発事故を契機に、地域ごとで、住民、中小地元企業などが自ら生産して自ら使うものと言う小規模分散型の地域主体の生産と消費と言う発想が必要ではないか、という考え方が出てきていると思います。 この小規模分散型と言う意味からすると、LPガスはその要件を満たし、災害時には威力を発揮するエネルギー供給形態であると思います。
災害対応	・エネルギーも限界があるので省エネに個々が心がける必要性を感じている。震災後、特に。いざという時に、非常用発電機の必要性も感じているなかで、LPガスを燃料として出来るならなおのことである。

災害対応	・ライフラインの復旧の速さ。
災害対応	・軒下在庫。
災害対応	・避難所の炊き出し用や給湯用などエネルギー源として簡易に取り扱いが出来ることが最大のメリットだと思います。
災害対応	・点検、復旧が早いこと。
災害対応	・どこへでも運搬が可能で迅速に事が運ぶからだと思います。
災害対応	・家庭においてもカセットコンロとカセットガスがあれば、手っ取り早く食事などを作ることが可能であるから。
災害対応	・LPガスは常に在庫が家にあるので、災害時にはなくてはならないエネルギーです。消費者に選ばれるためには価格が他エネルギーと比べて高くないことが条件です。
災害対応	・手間がかからないことと安全性。普及の早さ。
災害対応	・短時間に供給できること。転倒しない限りすぐ利用できること。
災害対応	・火力が強いこと。器具・道具があれば大量にできる。
災害対応	・電力はライフラインの復旧に時間がかかりすぎます。都市ガスエリアでも大きなマンションで住民が多勢のところには、災害対策用LPGバルクシステムの設置を増やしていくように望んでいます。ガス販売の事業所にバルクシステムの設置を自ら備えておくことも望みます。これから震災が起きたときには地域住民から感謝されることと思います。
災害対応	・災害時などのため、LPガス供給基地(備蓄)を分散させておく必要があると思います。
災害対応	・基地が近くにあると災害が起った時など、素早い時点で基地からの供給ができる。
災害対応	・エネルギーの安定供給ができるのは、LPガスだからであると思います。
災害対応	・家庭に50kg用のボンベが2本設置されているが、1本が空になるのにはかなり日数があり2本あればとても安心です。
災害対応	・大きな災害の時にいち早く供給再開できるLPガスは頼もしいエネルギーです。単一のエネルギーや大規模な設備が必要なエネルギーだけに頼ることは私たちの暮らしが大変脆弱な基盤にたっていることになってしまいます。エネルギーの多様化と分散型エネルギーの利用はこれからの暮らしに不可欠と考えます。特に都市部での災害時に対応できるように、LPガスを日ごろから使うことは大切な選択であると考えます。

災害対応	・家が全壊してしまった場合を除き、災害時電気は止まっても、日常使っているボンベが大きめであれば家で何とか生活できる。公民館、学校など避難場所になる場所に設置して、点検を兼ねてLPガスの使用訓練をすると良いと思う。お祭りなど地域のイベント時にも災害時を意識してLPガスの利用を勧めたらどうでしょうか。
災害対応	・2本のボンベがあるので、長期の使用が可能のため安心して使用することができる。
災害対応	・災害時に於ける取扱いの説明。
災害対応	・震災後いち早く復旧、災害に貢献されたことは、我々は改めてLPガスに感謝とこの熱源の威力を新たに、認識したのです。
災害対応	・LPガスは分散型エネルギーなので便利です。災害時の生活支援のため、節電のため等、利点が多いと思います。
災害対応	・個別供給の為、迅速な点検、復旧、持ち運びが容易で、すぐ利用出来るからだと思います。
災害対応	・個別供給するLPガスは一戸単位ですべてを行う為、対応が迅速である。
災害対応	・安全に保管できて、中身が減らないならば、非常時用の乾電池のように常備用品として家庭に普及させる。(地域の催しのバーベキュー大会等に貸し出しされるボンベの半分ぐらいの容量のもの)
災害対応	・災害に強い点だと思う。
災害対応	・電力の復旧が容易ではない時に、ボンベの運搬は可能であり、即、煮炊きする事が可能である点。しかし、電力がないと可動しない暖房については無力である。
災害対応	・煮炊きするだけの調理については備蓄義務があり、又、近県との連携が出来ている事は非常に心強く良い。
災害対応	・ライフライン等に関係なく、自家で対応出来る。
災害対応	・東日本大震災のときは、供給するLPガスの在庫はあっても、供給するのに必要なガソリンが圧倒的に不足しました。安定供給を守るためにはガソリンの確保の準備も重要です。
災害対応	・災害直後から利用できる。
災害対応	・2本設置の本数を増やせないのか。
災害対応	・公的場所に設置義務を求めたい。(集会所等)
災害対応	・他のエネルギーに比べて、早期に復旧可能であること。個別に復旧できること。
災害対応	・災害時に初期対応に適したエネルギーである。 移動に便利である。
災害対応	・備蓄基地が全国にあることを知り、安定供給が出来るので安心している。

災害対応	・地域密着型として、業者の方に直接届けてもらうことができる(利便性、供給安定度)。
災害対応	・災害時には非常食を作るのに大変助かっている。
災害対応	・防災訓練を何回もやっております。
災害対応	・基本的にエネルギーはリスクに備え分散するのが大切だと思っています。環境の面でも、エネルギーは分散型だと常日頃感じています。
災害対応	・災害時どこへでも移動が早く(ガス容器)出来、屋外でも屋内でも使用出来る。
災害対応	・交通手段が閉鎖されても小回りがきき、被災地周辺より補給が出来る便利さがある。
災害対応	・H25.7.28山口市阿東地域での豪雨に河川の氾濫、山の土砂崩れ等により、人家が流されたり、一集落床上浸水となり、避難者に炊き出しを致しました。その際、幸いな事に電気関係は被害がなくほっと致しましたが、水道は全戸断水となり大変困りました。炊き出しに使用いたしましたのは、電気系統ではなくLPガスにて煮炊き出来ました。供給面でも安心して使用し有効利用させて頂きました。
災害対応	・災害時の対応等、特に高齢者にはしっかり説明すること。
災害対応	・地域にある販売店の速やかな対応が大切。
災害対応	・災害時の不安を取り除くこと。
災害対応	・各県単位での備蓄の安定が必要。全国どこで災害が起こるかわからないし、どの地域でもフォローできる体制がいる。
災害対応	・大災害時の供給体制について、既存施設のLPガス、たとえば給食センター、料理教室の施設、使用頻度は少なくなったが、今も常設している施設、調理施設等の防災マップの作製、把握も、有効な備蓄になると思われます。
災害対応	・都市部においては、日常的に都市ガスへの依存度が高いため、災害時の都市ガスに替る熱源確保は特に重要と考えていますが、食料品、水など自治体・事業者等において簡易(小)型LPガスの備蓄が望まれるのではないのでしょうか。
災害対応	・学校・地域の公民館など災害時の避難所となる施設については、都市ガスとLPガスを併用できるように設備を整える必要があるのではないのでしょうか。
災害対応	・都市ガスとLPガスを併用できないか。
災害対応	・都市ガスは復旧に時間がかかるから。
災害対応	・各自治体や自治会などと災害時の契約をあらかじめかわしておくことが望まれる。
災害対応	・電力エネルギーは、被害にあいやすく復旧も遅い。LPガスであれば、被害にあいにくく復旧も早い。
災害対応	・電力の被害は広範囲にわたる。LPガスであれば個々被害であるため、近隣での助け合いができる等が考えられる。

災害対応	・家庭内の配管等が被害を受けていた場合の応急器具等も用意されているのか。
災害対応	・安全性に富んでいるから。備蓄制度があるから。
災害対応	・国の施策として取り組むこと、一般家庭として心掛けること、事業者として取り組むこと等、分野によって真剣に考えるべき。LNG高騰は原油輸入国も東南アジアのみでなく、アメリカも増産しつつある。シェールガスについても国は今後の施策を見直してほしい。再生エネルギーの多様化は、今後最も期待され実現性が高くなっている。備蓄義務がしっかり守られ安心感のもてる安定供給を心がけてほしい。 今後、太陽光、地熱、風力、水力等のエネルギー源が一般家庭に恩恵をもたらす期待も将来的には大いに注目されると思う。特に大分県での地熱利用は急速に進められると思う。
災害対応	・地震・台風などの非常時の際、(停電になった場合等)オール電化だと煮炊きができない。お風呂も困るなど生活全般において、LPガス復旧速度が早いという点でも非常に大きい役割を果たしていると思います。 やはり生活上不可欠なエネルギーとして大変重要なので、安定供給のためにも大切に無駄なく使わなくてはならないと感じています。
災害対応	・まずは、資源の確保だと思いますが、原油やLPガスは8割以上を社会情勢が不安定な中東に依存しているのと原子力発電所の稼働停止に伴う火力発電用の燃料輸入が増え、貿易赤字を記録していると聞く。円安の進行で燃料調達費の削減が日本の経済にとって重要な課題なので、調達コストの低下に努めなければならない。 省エネについては、官民一体となり取り組む必要がある。私たちにできることは何か、一人一人が少しでも将来を見据え、限られた資源について意識を高めることがエネルギーを大切に使うことにつながるのではないのでしょうか。
災害対応	・どこでも簡単に運ばれる。
災害対応	・停電の時にも使用できる。
災害対応	・点検が早期にでき、復旧が早くできる。
災害対応	・大規模集中型エネルギーは復旧に長時間を要するということが、今回の災害を経験してわかりました。LPガスはすぐに使えて便利であることが証明されました。各戸で備蓄ができることが、災害の時に役立ち、安定供給につながると思います。
災害対応	・特に災害時に強いエネルギーである。持ち運びの利便性。
災害対応	・備蓄はあるとのことですが、災害時に全国をカバー対応できるのか。
災害対応	・復旧のスピードの早さ。持ち運びができるので何処にでも設置できる。設備がコンパクト・シンプルな為、災害時に強い。
災害対応	・一つのエネルギーに集中、頼ると、その「危うさ」が震災ではっきりわかってきた。
災害対応	・家庭や地域でも、エネルギーを分散利用することがリスクを分散することにつながるという意識を高める必要がある(オール電化がマスコミ等ですすめられている?...)。

災害対応	・災害に強い(台風で停電とかがない)・個人の家族に対応できる・簡便性が高い・場所をとらない(ガスボンベがすぐおける)。ソーラーのように広い設置場所や風力のように調整やメンテナンスの費用がかからない。
流通	・特に高齢化社会の進展で、ソフト面での対応が重要となる。 いずれにしても、販売店の流通マージンが大きい理由の一端はそこにあると思う。サービス対応が悪い販売店は、ガスを売る資格がないのではないかと思う。
流通	・どのような仕組みで消費者にお知らせしているか、周知されているかが疑問です。
流通	・業界として課題を把握できる全国利用者10,000人抽出アンケートなどを取り不断の努力をすることが必要であると感じています。
流通	・1年に1度でもプロパンガスニュースを配布して欲しい(関連のニュースを掲載する)。
流通	・料金も銀行引き落としで事業者とは顔の見える関係ではない。配布の際は、手渡しが理想だが不可能な場合も多いと思うので、顔あわせで伝えられない分を埋め合わせるような内容や啓発を入れて貰うと消費者も役立つし、業界の理解にもつながる。
流通	・大手会社が残り、小売店が閉店し30年来の人間関係もなくなり、地域でのつながりもうすれています。大手に淘汰されてしまうと、地方地域は災害があった場合に不安がある。
流通	・自由料金制ですが、都市ガスの様に認可料金にはできないのでしょうか？
流通	・集金時、容器の交換時に安否確認し、地域を見守ってほしいと思います。
流通	・都市ガスと違って各個人宅ですので、安心が選択出来るのでLPガス家庭用ガス発電機が安く買えたら需要が増えるかと思えます。
流通	・他業者からの勧誘があり、事業者を変えたいという安い価格を提案されるなど、場当たりの対応が不信感を招いているように思います。
流通	・価格競争は仕方ないと思うが、消費者にとって安くて、安心できる業者がいい。それには、日頃からの対応によって業者と消費者との信頼関係が一番だと思う。新しい情報提供も必要だと思う。
流通	・販売店によってサービス面・メンテナンス面において、親切にして対応していただければ。
流通	・古くからの取引ですので安心していきます。
流通	・集中監視システムにより業務と疎遠になってしまい、いざという時に大丈夫なのかと不安になります。
流通	・契約したら毎月一回計量時に一人暮らしや高齢者宅に声かけをして、地域密着型になればいい。
流通	・「いつのまに置き換えにきたのかわからない。留守の時は仕方ないが、声かけぐらいして欲しい。」との声をよく聞きます。
流通	・取引商店の接点(顔)を望む。(訪問の回数を増やす。)
流通	・客の家庭状況(例:高齢者夫婦、独居等)を知りたい。

流通	・近所にある業者に対して、厳しいことは言いづらい。 出来ればハガキ等を渡して、自由に記入するやり方が望ましい。気兼ねせず要望が出来る。
流通	・すべての事業者がもっと地域と密接に交流される事を望む。
流通	・事業者が常に親しく、サービスが行届く。災害状態を把握してもらい、通報してもらえる。
流通	・私の知るLPガスを使用する多くの家庭では、事業者と顔なじみである場合が多く、契約及び取引が比較的スムーズに行われているようです。LPガスの供給契約の解約も問題なく済んだと聞いています。 “何かあった時は事業者さんに来てもらう、”と話す消費者が多く、事業者さんを信頼しているようです。事業者さんは声かけや、問題点への素早い対応などによって、その信頼に応えていただきたいと思えます。
流通	・イベント開催時、器具等の販売中心でなく、料金など消費者が疑問などを気軽に聞けるブースも設けていただけたらと思うのですが。
流通	・契約し取引を始めると、販売事業者(ガス事業者間)を変更することはあまりないと思いますが、消費者より、LPガスからオール電化に変更することを告げられた時、ガス事業者はメリットなどPRに取引継続の引留めはできますか。
流通	・ガス警報器の交換時、使用ガス器具の点検がありました。丁寧に対応していただきましたが、ガスコンロの購入を求めた時、エネルギーフェアで買われたら安価とのこと。器具の説明、パンフレット配布など、消費者が購入の際に必要な知識を得る機会を与えてもらえませんでした。仕事分担により営業はできないのですか？販売と購入のチャンスはこの様な時ではと思いますが。
流通	・災害時ガスはボンベ、コンロ等有れば、どこでも使用することができ、ライフラインの復旧にいち早く対応ができる。但し、日頃より事業者と消費者が顔を知る間柄であり、コミュニケーションが取れた信頼関係がないと、即対応が不可能になる場合がある(災害時連絡等の行き違いなど)。
流通	・高齢者世帯が増え続ける現在、生活に直結したエネルギーは、災害時はもとより、日常に於いても高齢者が安心して暮らせる安定供給を望みます。
流通	・販売事業者の態度は非常によろしい。高齢者に対しての気配り良好。
流通	・地域の販売業者を利用する事が、当然の様になっている現状では、契約取引に関して丁寧な説明はありませんでしたが、それが当然の様になっている現状がある。 地域のお付き合いという事なのかもしれないが・・・、特に料金については、説明がないのが現状です。
流通	・取引については、きちんとしたルールを守るべきだと思います。
流通	・契約及び取引は、ルール通り行うべきで、質問があれば聴ける対応が必要です。
流通	・消費者への販売の際、詳細な説明は必要ながら、ガス容器取替の際、高齢者(一人暮らし)等の家族に声をかけて使用上の注意を再確認と安否確認もされたいと思います。
流通	・取引については販売店が一店舗だけなので、競争又変更の余地がありません。 ・料金、サービス等に対しては良心的であって欲しい。
流通	・毎月ガス使用料金(請求額と同じ)のみの請求書がくるだけ、口座振替のため一度も額も話をしたことがない。

流通	・年間に一度は訪問し現状の説明や新しい事等、利用者に理解を求めること。
流通	・高齢者にオール電化の進めが多くあり、便利なのがPRされている。LPガス業界からの話は聞かない。
流通	・検針及び補充はどのような基準でしているのか。たとえば使用頻度でしているか、定期的に補充するのか。(この冬、2つのタンクが空になり料理途中で連絡して持ってきてもらいました。対応してもらいました。対応はとても親切でしたが、とても不安でした。)
流通	・消費者の選択は、情報と社会情勢(はやり)によって決められます。エコと言われれば、経済的に言うと、優先する情報によって決まって、あるときの電化住宅に移行したのでは。
流通	・契約消費者に対しての対応は私の知っている範囲では定期的に来てもらえて問題ないようです。価格だけでなく安心と満足が消費者に伝わるように頑張ってもらいたい。
流通	・検針票が配達されない。問い合わせたところ、担当者が配達することになっているということである。その後も配達がない。管理をきちんとしてほしい。
流通	・地域とのコミュニケーションをしてほしい。調理器具の展示とか。
流通	・販売店の対応がいいので、安心してLPガスを使っている。
流通	・以前のように保安点検が毎年行われないので、関係が薄くなる。機器の安全性も高くなり事故も起こらない現状ではあるが、あくまで義務としての保安点検はしっかり完璧に行い、その際業界の取り組みをしっかり伝えること。この点検表も目につくところに保管すれば、相手方にとって安心感がもてる。場合によっては機器の取り換えを助言することも必要だし、時期をみて確認のための助言が信頼感を生むことにつながる場合もある。
流通	・支払方法として、自動引落しが普及し、昔のように定期的に集金に来てもらって近況などを話す機会が減ったことはやや寂しい気がしています。何でもパソコン上で処理され、便利になった反面、顔を合わせる事がなくなり、何でも相談できなくなったこと。できるなら月に一度でもお声掛けいただいたら、特に高齢者は心強いと思います。(料金に関する事だけに限らず)
流通	・独居高齢者増加、ガスは危険だと言うことでオール電化の生活スタイルに変わりつつある昨今、電化に対抗、対処しているか。
流通	・LPガスのメリット・デメリットを発信し、協力や支援が必要な事はきちんと要求し、安定供給を行ってほしい。
流通	・健全な市場における競争を望みます。→料金(談合とか)について不透明になると思う。
流通	・健全な市場における競争を望みます。→カスタマーサービスの向上。
流通	・富も権力も持ったが「勝ち」、発言力、行動力は、そこにしか与えられないという風潮が加速しているように思う。 ・気持ちを解り合う。弱者の視点も理解し、分かち合う、折り合うという努力はどちらの側にも必要と思うのだが、特に「勝ち」組みの方々をお願いしたいもんです。
供給	・ガスの安定・安心供給は必要です。地方地域の安定供給、契約業者の確保が望ましい。

供給	・各県市町村での備蓄ができないか。
供給	・エネルギーの安定供給をしてもらえるので、今後も安心して活用したい。
供給	・私共のところは1本設置しています。残の不安もなく生活出来、有りがたく思っています。2本設置のところは、常に1本補充しているのでしょうか？
供給	・貯蔵しやすい。
供給	・持ち運びしやすい。
供給	・輸入に頼ってばかりではなかなか価格低下が見込まれないので、自国で生産出来る技術が早急に開発されると良いと思います。
供給	・LPガスが再注目され、需要が伸びるとさらに備蓄急増。その対応は。
供給	・災害時の備蓄については、LPガスの輸入価格が安くなれば利用すると思われれます。原子力より安全だと思しますので、大いに普及出来るようにすれば良いと思います。
供給	・エネルギーの安定供給に関しては、分散型で地域ごとにエネルギー供給できるようなシステムを実現してほしい。 将来の天然ガス利用のシフトの話を聞きたい。
供給	・国と民間企業に備蓄義務があるということがエネルギーの安定供給につながり、もしもの時安心がもてる。これこそLPガスだから出来ることなのです。
供給	・国家と民間の備蓄が多くあり又劣化しないので、長期間の使用が可能で安定した熱源供給が出来ると思います。しかし輸入に依存している為、中東での戦争による輸入の中断が懸念されます。
供給	・シェールガス革命などと言われ、日本もカナダから輸入すると聞きましたが、LPガスと価格がどれほど違うのでしょうか。
供給	・煮炊きするだけの調理については備蓄義務があり、又、近県との連携が出来ている事は非常に心強く良い。
供給	・配線・配管設備が広い範囲で破壊された場合でも、各家庭へ宅配できるという特性。
供給	・安定供給という面では、LPガスは約3/4を輸入に頼っているのです、何らかの事情で輸入ができなくなった時、いくらかの備蓄があるとは言っても安心はできないと思う。 災害時の一時的な対応はできても、将来的にはどうなのか知りたい。
供給	・非常時にLPガスが役立っている事は知っていますが、やはり、殆ど輸入である事に危機感を覚えます。 自国で備蓄出来るガスがあれば、早目の対応をすべきだと日頃感じています。
供給	・国の責任としてしっかりとした備蓄制度を。
供給	・LPガス協会と自治体との連携と同時に国民のライフラインとして相応な国家備蓄を維持してください。

供給	・液化ガスの輸入量などの安定化について将来的な予測を教えてください。
供給	・安定供給及び、施設の安全点検も十分にしてほしい。
供給	・備蓄義務が課されているので、安全で安定した供給確保がなされているので、安心して生活をする ことができます。
供給	・大規模集中型エネルギーは復旧に長時間を要するということが、今回の災害を経験してわかりまし た。LPガスはすぐに使えて便利であることが証明されました。各戸で備蓄ができることが、災害の時に 役立ち、安定供給につながると思います。
供給	・エネルギーの安定供給の為、LPガス備蓄は国レベルできちんと続けていくべきだと思う。
需要	・今、電気不足、電気不足、と報道されていながら、マンション、アパート、新築家にはオール電化やIH がどんどん増えています。震災に強い、火力も高い、LPガスの普及は、電気に押され気味に感じます。
需要	・個々との契約でしょうが、その辺に便利の良く、安全な熱効率高い熱源が若い人に普及していかない わけがなく、期待します。
需要	・エネルギーの安定供給のために、リスク分散のためにも、電気、都市ガス、LPガス、太陽光や風力な ど、それぞれのエネルギー業界が競争・発展するのが望ましいと思う。
需要	・昔ながらのカマドも使用したいが煙が条例に引っかかるそうです(木の枝や葉を燃料としてはダメだと のこと)。
その他	・本懇談会は継続事業なので、毎年出された意見・要望等について、改善点などがあれば報告する等 すれば、前向きな会議になるのではないかと。
その他	・電気について 今、原発の代わりに火力発電をしております。CO2の問題などでLPガスにすると可能ですか。コストは どの位高くなりますか。(火力発電にしてから異常気象が日本全国で多発しているので・・・)
その他	・ガス料金の徴収について考慮する必要がある。例えば、料金の未納入などがある場合の対処など。
その他	・電気や都市ガス等は広域に布設されているため、復旧に時間がかかるため。
その他	・電力と一緒に使用しなければ可動しない器具(暖房用、風呂用)等については、冬期雪国では意味を なさない。 ただその時動かすことの出来る器具があると聞いたが、どういうものがどういうルートで購入出来るの か、価格はいくらか等、周知されていない。
その他	・特に蒸し器を使う場合非常に早く出来る、火力が強い。
その他	・家庭用のガス発電機をもっと普及させると良いと思う。
その他	・取引エリアに関する規則はあるか。
その他	・業者の訪問勧誘もほとんどない。